大阪大學總合學術博物館
年報
2010

大阪大学総合学術博物館
The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報　２０１０

はじめに

大阪大学総合学術博物館の『年報 2010』を刊行いたします。例年通り、2010(平成 22)年度の博物館の活動の概要からご紹介します。

まず、2010 年 4 月 27 日から 6 月 26 日まで、緒方洪庵生誕 200 年を記念して、適塾記念会との主催、附属図書館、大学院文学研究科、外国語学部の共催、手塚プロダクション、司馬遼太郎記念館、大阪大学 21 世紀懐徳堂の協力を得て第 11 回企画展・適塾特別展示「えがかれた適塾」を開催しました。緒方洪庵と適塾はどのように漫画や小説・映画などにえがかれ、歴史のなかに位置づけられてきたのかを考える展覧会としました。期間中の入館者は 4,537 名に上りました。

ついで、2010 年 10 月 27 日から 2011 年 1 月 8 日まで、附属図書館との主催、大学院文学研究科の共催、芦屋市立美術博物館の特別協力、大阪大学 21 世紀懐徳堂の協力を得て第 12 回企画展「線の表現力―アートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」を開催し、入館者は 4,086 名に上りました。

さらに、新しい試みとしての短期間展覧会として、グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文学」特別展示「抵抗を縫う―チリのキルトにおける触覚の物語」（10/12～16）を開催し、５日間でしたが、入館者は 456 名に上りました。

以上の企画展、特別展に加えて、2008 年度からはじめた「サイエンスカフェ＠待兼山」の取り組みを、理学研究科、基礎工学研究科、文学研究科、薬学研究科等の協力を得て継続して実施しました。待兼山修学館の３階セミナー室を会場として、毎回定員 30 名で、前期 9 回、後期 10 回実施し、好評を博しました。企画展開催期間中にはミュージアムレクチャーも 9 回実施しました。

博物館への団体見学も増加しており、その数は年間 62 件になりました。その他、社会との連携に関する事業として、豊中市教育委員会と連携した「夏の小学生科学体験教室」を４回開催しました。さらに、理学研究科宇宙地球科学専攻と共催で「世界天文年　全国同時七夕講演会　大阪大学講演」を 7 月 7 日に待兼山修学館セミナー室で開催しました（参加者数：計 30 名）。また、総合学術博物館湯川記念室の主催行事として開催した「最先端の物理を高校生に－Saturday Afternoon Physics 2010－」(6 回)　も大変好評で、200 名の高校生が熱心に参加してくれました。

以上の取り組みの結果として、2010(平成 22)年度の入館者は 17,594 名になり、前年度(20,123 名)よりも減少しましたが、これは企画展の開催を３回から２回に戻したことが主要な要因です。

その他、大阪大学総合学術博物館叢書 5 小林快次・江口太郎著「巨大絶滅動物マチカネワニ

化石－恐竜時代を生き延びた日本のワニたち－」、大阪大学総合学術博物館叢書 6 阿部武司・沢井実著「東洋のマンチェスターから大大阪へ　経済でたどる近代大阪のあゆみ」の２冊を刊行しました。

さらにこれまでの懸案であった総合学術博物館外部評価委員会を 2010 年 7 月 30 日に開催し、同年 12 月に外部評価をとりまとめた「外部評価報告書」を発行しました。

2011 年度は、大阪大学創立 80 周年にあたり、80 周年記念事業によるイ号館の大阪大学会館への改修工事によって、教員研究室、事務室、歴史展示室等の耐震改修がなされ、収蔵庫も新しい展示実習設備を会館内に設けるとともに、2012 年春季竣工を目指して修学館横に高機能収蔵庫棟を建設しているところです。

なお、2011 年度当初に、人事異動があり、資料情報研究系の廣川和花助教が新設された適塾記念センターの大阪学部門准教授として栄転しました。

これまで以上に地域交流型ミュージアムとして活発な活動を展開してゆく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2011 年 7 月

大阪大学総合学術博物館長

江口太郎

目　次

1. 第 11 回企画展　えがかれた適塾

（緒方洪庵生誕 200 年記念・大阪大学創立 80 周年プレイベント）…… 5

1.1　展示概要 …… 7

2. 第 12 回企画展　線の表現力

－アートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって … 15

2.1　展示概要 …… 17

3. 平成 22 年度活動報告…… 25

3.1　平成 22 年度の主な活動 …… 27

3.2　関連記事一覧 …… 30

3.3　サイエンスカフェ@待兼山

“土曜の午後はミュージアム” …… 33

3.4　夏の小学生科学体験教室 …… 37

3.5　専任教員活動報告 …… 39

3.6　常設展示来館者数及びアンケート集計結果 …… 64

3.7　団体見学等一覧 …… 74

3.8　待兼山修学館 3 階セミナー室使用状況一覧 …… 76

4. 館内配置図 …… 79

5. 寄贈図書一覧 …… 83

1. 第 11 回企画展
えがかれた適塾
（緒方洪庵生誕 200 年記念・
大阪大学創立 80 周年プレイベント）

1.1 展 示 概 要

大阪大学総合学術博物館第11回企画展・適塾特別展示　緒方洪庵生誕200年記念・大阪大学創立80周年プレイベント「えがかれた適塾」を、2010年4月27日（火）～6月26日（土）の約2ヶ月間にわたって開催した。緒方洪庵が先導した種痘やコレラ予防の教えや、近代日本の国家形成に重要な役割を果たした福澤諭吉・大鳥圭介・長与専斎ら、医師にとどまらない多様な人材を適塾が輩出したことなどを、史料展示と同時に、適塾をえがいた作品を通じて示す展覧会であった。緒方洪庵と適塾は、手塚治虫の漫画『陽だまりの樹』、司馬遼太郎の小説『花神』をはじめとする多くの作品のなかでえがかれてきたが、それらを通じて、わたしたちの生きている＜歴史的現在＞を考えることをテーマとした。適塾記念会・附属図書館や外国語学部など、本学とその関係者が所蔵する歴史的史料を積極的に活用した展覧会となった。期間中、待兼山修学館には4,537名が来館し、好評を得た。

大阪大学総合学術博物館　第11回企画展・適塾特別展示
緒方洪庵生誕200年記念・大阪大学創立80周年プレイベント

テーマ：えがかれた適塾
期間：平成22年4月27日(火)～6月26日(土)
会場：大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館3階多目的ルーム
主催：大阪大学総合学術博物館・適塾記念館
共催：大阪大学附属図書館・大阪大学大学院文学研究科・外国語学部
協力：手塚プロダクション・司馬遼太郎記念館・大阪大学21世紀懐徳堂
入場者数：4,537人

－ミュージアム・レクチャー－

第23回　5月1日(土)　「司馬遼太郎と適塾のあった大坂」
上村洋行氏(司馬遼太郎記念館館長)　入場者数：165名
第24回　5月15日(土)　「『陽だまりの樹』と蘭方医手塚良仙」
深瀬泰旦氏(順天堂大学医学部医史学研究室・日本医史学会理事)
入場者数：40名
第25回　5月29日(土)　「近世大坂の学問と適塾」
橋本孝成氏(適塾記念会資料専門員)　入場者数：30名
第26回　6月19日(土)　「適塾と都市大坂の医療環境」
海原亮氏(住友史料館研究員)　入場者数：65名

－映画上映－

「洪庵と1000人の若ものたち」洪庵没後100年記念、木村荘十二監督、1963年(次頁のチラシでは1969年と誤植)　会期中待兼山修学館3階セミナー室で常時上映（約60分）

大阪大学総合学術博物館第11回企画展・適塾特別展示

緒方洪庵生誕200年記念・大阪大学創立80周年プレイベント

えがかれた適塾

2010年4月27日(火)ー6月26日(土)

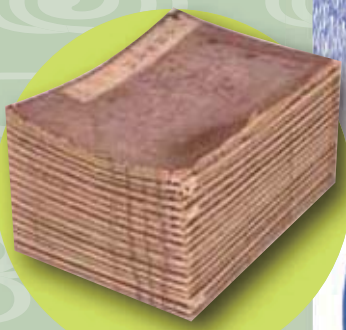
(日祝休館　ただし4月29日・5月2日・5月5日は開館)

10時30分ー17時　入場無料

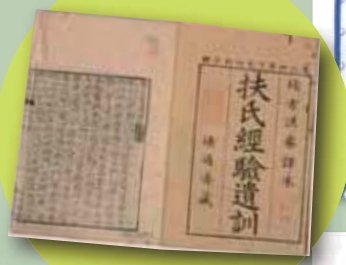
【会場】大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館　【主催】大阪大学総合学術博物館・適塾記念会

【共催】大阪大学附属図書館・大学院文学研究科・外国語学部　【協力】手塚プロダクション・司馬遼太郎記念館・大阪大学21世紀懐徳堂

© 手塚プロダクション



『扶氏経験遺訓』(安政4年)



(同上)

『虎狼痢治準』(安政5年)

「勤仕向日記」(文久2～3年)

『病学通論』(嘉永2年)

ミュージアムレクチャー
全4回
5月　1日(土)
5月15日(土)
5月29日(土)
6月19日(土)

映画
洪庵と1000人の若ものたち
洪庵没後100年記念
木村荘十二　監督
1969年(約60分)
常時上映

MOU
Museum of Osaka University

OSAKA UNIVERSITY

「えがかれた適塾」展を開催して

適塾記念センター　准教授
廣川　和花

開催の経緯

2010 年は、緒方洪庵（1810-1863）の生誕 200 年にあたる。大阪大学総合学術博物館では、これを記念して、前年度より適塾と緒方洪庵に関する企画展の開催を準備してきた。また例年、大阪北浜の適塾において適塾特別展示（適塾記念会と大阪大学の共催）を開催してきた適塾記念会では、2010 年 1 月の幹事会適塾行事企画ワーキングにおいて、この企画展を 2010 年度適塾特別展示としても位置づけることが決定された。これにより、本企画展は総合学術博物館と適塾記念会の両主催とすることとなり、史料の提供にご協力いただいた本学附属図書館・大学院文学研究科・外国語学部にも共催として加わっていただいた。また、資料借用でご協力いただいた司馬遼太郎記念館、本展のモチーフのひとつとして重要である手塚治虫作品（後述）とのかかわりから手塚プロダクション、そして広報活動の面から本学 21 世紀懐徳堂に、協力として名をつらねていただいた。

適塾記念会側からは村田路人文学研究科教授および橋本孝成資料専門員（当時）、総合学術博物館側からは主に廣川（当時、博物館助教）が展覧会の直接の企画・設営等を担当した。

展示の趣旨

この企画展では、適塾という貴重な史跡が建物として現存しており、そこに行けば実際に適塾の歴史や雰囲気に触れられる存在であるのに対して、適塾建物とは切り離して資料だけを展示する場合、どのような切り口が適当であるかという点がまず課題であった。

また、本学の創立 80 周年プレイベントであるということも加味して、展覧会を通じていかに大阪大学の各部局、関係各所が所蔵する資料を活用し、その存在意義を本学構成員と一般の来館者に広く伝えることができるかということも意識した。

適塾と緒方洪庵については、これまでの研究・顕彰活動が数多くあり、その中での歴史的な評価として主な点は、洪庵が先導した種痘やコレラ予防の教えは、感染症予防の先駆けとして現在でも高く評価されていること、適塾が蘭学塾として、近代日本の国家形成に重要な役割を果たした福澤諭吉・大鳥圭介・長与専斎ら、医師にとどまらない多様な人材を輩出したことなどである。

そこで、まず基本方針としては洪庵と適塾の事跡を歴史的史料の数々を通して網羅的に示すこととし、その理解のてがかりとして「えがかれた適塾」という視点を導入することを考えた。すなわち、緒方洪庵と適塾は、どのように漫画や小説、映画などにえがかれ、歴史のなかに位置づけられてきたのかということである。まず、展示のビジュアルな面にかかわって、本学の卒業生でもある手塚治虫が曾祖父手塚良庵を登場させて適塾と幕末のドラマを描いた『陽だまりの樹』（1981～86 年）から、展示史料に関わる場面を取り出して見せ、いわば本企画展のガイド役のように位置づけることを考えた。作品に登場する洪庵や適塾門下生のえがかれ方と実際の歴史史

料をリンクさせて、史料への理解と親しみをもたせようとしたのである。

次に、実際にそもそも現在の大阪大学が適塾をその「精神的源流」と位置づけていること自体、適塾という史跡に対する理解の、歴史的展開の結果であるともいえる。単に現在の大阪大学のオフィシャルな見解として適塾を位置づけるのではなく、どのようにしてそのような歴史認識が形成されてきたのか、そのこと自体をふりかえってみたいと考えたのである。そこで、適塾と大阪大学の関係に言及し、その後の認識形成に大きなインパクトを与えたといわれている司馬遼太郎の小説『花神』(1969 年)を紹介することにした。司馬遼太郎は大阪外国語学校（現在の本学外国語学部）の出身であり、その関係史料が外国語学部に残されている。これらも普段広く公開される機会がないため、合わせて展示することにした。

結果として、適塾の史料展示がメインの第Ⅰ部、『陽だまりの樹』をクローズアップした第Ⅱ部、司馬遼太郎をはじめとする適塾をえがいた作品をテーマとする第Ⅲ部、という全三部構成となった。

展示内容の紹介

第Ⅰ部、第Ⅱ部では適塾記念会所蔵品を中心に、洪庵肖像画、洪庵著作『病学通論』『扶氏経験遺訓』『狼狼痢治準』、洪庵の日記や書状、ヅーフ辞書、門下生著作である長与専斎『松香私志』、福澤諭吉『学問ノススメ』などを展示した。各所に使用した『陽だまりの樹』の原画や出版された単行本なども展示した。

第Ⅲ部では、司馬遼太郎関係史料（司馬遼太郎記念館、本学附属図書館、外国語学部より借用）を中心に、適塾をえがいた作品と、本学の大学史も紹介した。

このほか、セミナー室では映画「洪庵と 1000 人の若ものたち」（緒方洪庵没後 100 年記念、木村荘十二監督、1963 年）の上映も行い、好評を得た。

会期中、上村洋行氏（司馬遼太郎記念館館長）、深瀬泰旦氏（順天堂大学医学部医史学研究室・日本医史学会理事）、橋本孝成氏（当時、適塾記念会資料専門員）、海原亮氏（住友史料館研究員）の各氏を講師に迎え、4 回のミュージアムレクチャーを開催した。

展示史料の詳細は村田路人・橋本孝成・廣川和花「＜適塾特別展示＞えがかれた適塾」『適塾』43 号（2011 年）に掲載されているので、あわせて参照されたい。

まとめにかえて

幕末日本における屈指の蘭学塾である適塾について、適塾以外の場所で一度にこれだけの規模で展示がなされた機会は、これまでにそう多くなかったものと思われる。また、大阪大学の構成員であっても、適塾に実際に足を運ぶ機会がそうあるわけではない。大阪大学が所有し管理している適塾という貴重な歴史遺産について、本学構成員や広く一般の来館者が関心を持ち、その歴史に親しむきっかけとして、本企画展が寄与するところがあったなら、望外の幸せである。ご協力いただいた関係各所に、心より御礼申し上げたい。

えがかれた適塾
―緒方洪庵と適塾

II『陽だまりの樹』の世界

『陽だまりの樹』の中の洪庵と適塾

2.　第 12 回企画展
線の表現力

―アートの諸形態、須田国太郎
《能・狂言デッサン》から広がって

2.1 展 示 概 要

大阪大学総合学術博物館第 12 回企画展「線の表現力ーアートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」を 2010 年 10 月 27 日から翌年 1 月 8 日まで開催した。大阪大学附属図書館に寄贈された日本近代を代表する洋画家・須田国太郎（1891－1961）の《能・狂言デッサン》を中心に、藤田嗣治、村上華岳、松本竣介、吉原治良、松谷武判、三上誠、佐藤忠良、中山忠彦、中村貞夫、濱田弘明らの作品を陳列し、演劇や、一部、音楽も含めて“線”による様々な芸術表現を 3 部構成で展示した。本館はじめての本格的美術展でもある。中村貞夫画伯のワークショップによる参加者の素描をロビーに展示したほか、芦屋市立美術博物館の特別協力を得た。入館者は 4,086 人。

大阪大学総合学術博物館　第 12 回企画展

テーマ：「線の表現力 ーアートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」
期間：平成 22 年 10 月 27 日(水)～平成 23 年 1 月 8 日(土)
会場：大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館 3 階多目的ルーム
主催：大阪大学総合学術博物館・大阪大学附属図書館
共催：大阪大学大学院文学研究科
特別協力：芦屋市立美術博物館
協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂
入場者数：4,086 人

ーワークショップー

11 月 6 日(日)　中村貞夫氏（画家・宝塚大学講師）「描線を楽しもう―1 本の線で描く―」
※ピカソが得意にした一筆描きの素描を楽しむ。参加者の描いた“線”は会期中、1 階ロビーのインスタレーションに展示。入場者数：43 名

ーミュージアム・レクチャーー

第 27 回　11 月 7 日(日)　「線描の軌跡」
中村貞夫氏(画家・宝塚大学講師)　入場者数：55 名

第 28 回　11 月 27 日(土)　「愚直な音楽ージョンケージによる図形楽譜の試みー」
上野正章氏(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員)　入場者数：28 名

第 29 回・第 30 回
12 月 4 日(土)　「能と絵の出会いー須田国太郎　能・狂言デッサン再考ー」
天野文雄氏(大阪大学名誉教授)
「〈能〉と父・須田国太郎」
須田寛氏(JR 東海相談役)　入場者数：各 70 名
※天野・須田両氏による対談あり

第 31 回　12 月 11 日(土)　「行為の痕跡：1950 年代〈具体〉作品の線」
加藤瑞穂氏(芦屋市立美術博物館主任学芸員)　入場者数：23 名

80th 原点へ ANNIVERSARY 未来へ 2011 OSAKA UNIVERSITY

大阪大学総合学術博物館 第12回企画展

線の表現力

LINE

Freedom of Expression

アートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって

2010 10/27［水］～2011 1/8［土］

（日祝、12月29日［水］～1月3日［月］は休館：ただし11月7日［日］は開館）
10:30～17:00 入場無料

【主な作家】
須田国太郎、藤田嗣治、村上華岳、松本竣介、吉原治良、
松谷武判、三上誠、佐藤忠良、中山忠彦、中村貞夫、濱田弘明 ほか

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

ワークショップ
11月6日［土］

ミュージアムレクチャー
11月7日［日］・27日［土］ 12月4日［土］・11日［土］

会　　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
主　　催：大阪大学総合学術博物館・大阪大学附属図書館
共　　催：大阪大学大学院文学研究科
特別協力：芦屋市立美術博物館
協　　力：大阪大学21世紀懐徳堂

須田国太郎「邯鄲」 紙・鉛筆
1942 大阪大学附属図書館蔵

MOU Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館 第12回企画展
「線の表現力ーアートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」

橋爪節也（大阪大学総合学術博物館教授）
横田　洋（大阪大学総合学術博物館助教）

原始の岩窟壁画の時代から人類は“線”を刻みつけることでコミュニケーションを行ってきた。組み合わされた複数の“線”は、言葉を伝える文字となる一方、世界を写しとり、それを表現する絵画へと発展する。中国や日本では、絵画の基本的な要素である「画之六法」の二番目に「骨法用筆」が挙げられるなど“線”の存在が重視され、西洋の絵画でも無論“線”の存在は重要であった。“線”には、モノの形象を画面に再現する写実的な“線”、それ自体の美しさを主張する“線”などがあり、“線”による表現は現代アートの世界でも多種多様な試みがなされている。本展覧会では、大阪大学附属図書館に寄贈された近代を代表する洋画家・須田国太郎（1891- 1961）の《能・狂言デッサン》を中心に、美術における多様な“線”の表現力をテーマとした。

展覧会は、「第1章 “線”は自分の歌を歌い出すー具象化への意志と美しき“線”ー」「第2章 運動の軌跡を描き止めるー須田国太郎《能・狂言デッサン》ー」「第3章 “線”は別の歌を歌い出すー抽象化への疾駆、さらに新しい表現へー」の三部で構成される。

第1章では、江戸時代の絵手本、幸野楳嶺塾の粉本からひもとき、乳白色の下地に面相筆による美しい描線で知られる藤田嗣治の素描や、自ら「線の行者」を自負した村上華岳の仏画と山水、松本竣介の素描などを展示して、日本画と洋画の“線”の違いを示したほか、彫刻家と洋画家の素描における表現上の違いを、少女の頭部を描いた佐藤忠良、中山忠彦の二作品で対照的に示し、合わせて少女頭部の佐藤の彫像も展示した。

第2章は、須田国太郎が終生、熱中した能や狂言の舞台スケッチを前半後半に分けて展示した。前半では須田の描いた素描と能・狂言の演目を照合する形で紹介しながら、須田が、能のもつ様式美と運動感を巧みに描き止めていることを示し、後半では、須田が能役者の動きをさらにスピード感をもってとらえ、一瞬を描き止めるために抽象絵画にも通じる躍動する線描に昇華させていることを示した。写実的に写そうとしながらも、演者の動きを追跡しながら“線”が加速し、運動そのものを表現する素描へと変容していく過程を展示で追った。これら須田の素描は、ほとんどがスケッチブックに鉛筆で描かれているが、近年、本学図書館が収集した、須田が日本画の筆で巻紙に描いた墨画による能・狂言のスケッチも初公開した。

第3章では、須田の素描が示した運動感や抽象表現の可能性を踏まえて、モノを二次元の紙の上に再現するという機能から解き放たれ、一種の運動体と化した“線”が抽象絵画も含めた新しいアート表現へと進んでいくことを示した。具体美術協会の吉原治良、松谷武判や、パンリアル美術協会の三上誠のほか、現役作家として中村貞夫、濱田弘明の作品を展示した。中村は大阪大学文学部の卒業生で、その素描多数が本学に寄贈されている。吉原と具体関係の展示では、「具体誌」全巻の借用も含めて芦屋市立美術博物館の特別協力を得た。「具体誌」に付録として収め

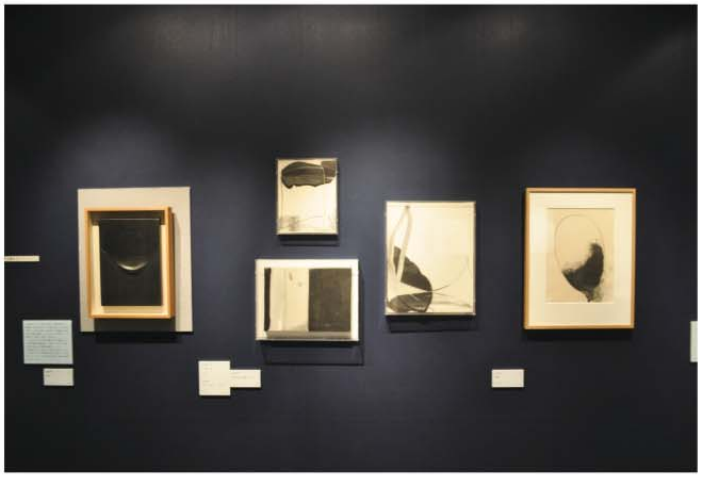
られている白紙に僅かな“線”をひくだけの零度の絵画とも呼びたくなる金山明の作品もケースに並べた。また、この章では美術にとどまらず、アメリカ実験音楽を代表するジョン・ケージの「アリア」など図形楽譜を展示し、後述のレクチャーでのCDによる作品鑑賞を企画するとともに、音楽が画面に溢れたような横尾忠則の版画を添えた。

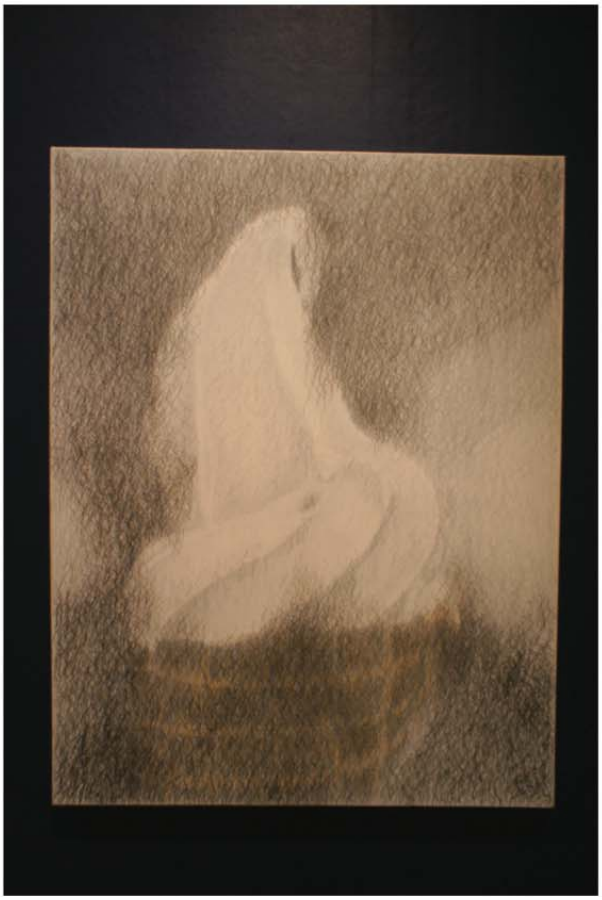
ミュージアム・レクチャーでは、天野文雄大阪大学名誉教授の講演、並びに同教授コーディネートで須田国太郎のご子息・須田寛氏（JR東海相談役）の講演が開かれ、両氏の対談も行われた。須田が油彩画を制作するとき、肖像写真にあるようにスーツ姿で描いていたという逸話が紹介されたが、西洋の油彩画と東洋的な美意識の融合を試み、それを毅然として風格ある作品に結実させた須田芸術を考える上で示唆に富むエピソードであった。中村貞夫による講演とワークショップでは、ピカソが素描を描いた方法を参考に、参加者が鉛筆素描を行い、描かれた作品は1階ロビーに作られたイーゼルを模した大きな展示台に展示された。さらに図形楽譜について上野正章（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員）、具体美術協会について加藤瑞穂（芦屋市立美術博物館主任学芸員）の講演会を開催した。

展示では、ニューヨーク近代美術館を先駆として白い壁面に展示する「ホワイトキューブ」という考え方があり、近現代の美術を主対象とする日本の一般的な美術館でも主流となっているが、大学博物館の使命として従来の考え方に固執するのではなく、自由な色調の壁面をつくり、個々の作品の美的特質を引き出す実験を行うことも一つの課題とし、第1章の展示コーナーでは、緑色味の暗く鈍い青色である錆鉄御納戸、第2章は濃い赤紫の藤煤竹、第3章は濃紺の色調を用いた（品番ヤナカ・YNK751、754、755 など）。特に中村貞夫の梅林をテーマとしたモノクロの大きな版画作品（3面連続展示）が濃紺の壁面に映えて効果的であった。

また第2章前半部では仮設壁にも工夫し、狭隘な展示室で個性的な動線効果をあげるため、平面上120度の角度で開いた三ツ矢型の仮設壁を立て、来館者がその周囲を、あたかも回転する歯車に巻き込まれて移動するような動線とした。その仮設壁には、動線に沿う形で、能・狂言の伝統的な演目順である五番立ての番組を意識した順にデッサンを並べた。そして、動線が進む順に写実的なデッサンが徐々に抽象的な方向へと変化していく様子を示した。観覧者が、無意識のうちではあっても、動線に沿うことで、伝統的な能番組の構成を体感し、同時に須田のデッサンの多様性を認識できるような展示を目指した。そうした試みを通して本展覧会の本題でもある“線”が強調された第2章後半部のデッサンへの導入をはかった。そして後半部では大量のスケッチブックが視界全体に広がるような壁面展示を行い、全体で6千に及ぶという質量ともに圧倒的な須田の能・狂言デッサンの一端を視覚的に体感できるような工夫を行った。

展示室の設備上の限界はあるものの本展覧会は、芸術作品としての展示資料の鑑賞効果を最大限、発揮できるように意識して企画されたもので、大阪大学総合学術博物館で開催された最初の本格的美術展覧会であったと評価できる。





3. 平成 22 年活動報告

3.1 平成 21 年度の主な活動

期　間	主　な　活　動
平成22年	
4月27日～6月26日	第 11 回企画展 「えがかれた適塾」（緒方洪庵生誕 200 年記念・大阪大学創立 80 周年プレイベント）を開催した。適塾記念会・附属図書館や外国語学部など、本学とその関係者が所蔵する歴史的史料を積極的に活用した。
5月1日	ミュージアムレクチャー第 23 回「司馬遼太郎と適塾のあった大坂」を開催した。（講師：司馬遼太郎記念館　上村洋行館長）
5月15日	ミュージアムレクチャー第 24 回「『陽だまりの樹』と蘭方医手塚良仙」を開催した。（講師：順天堂大学医学部医史学研究室・日本医史学会　深瀬泰旦理事長）
5月23日	畑田家住宅活用保存会主催、大阪大学総合学術博物館協賛でフォーラム「見たものを描く喜び」が開催された。（場所：国の登録文化財　畑田家住宅）
5月29日	ミュージアムレクチャー第 25 回「近世大坂の学問と適塾」を開催した。（講師：適塾記念会　橋本孝成資料専門員）
6月19日	ミュージアムレクチャー第 26 回「適塾と都市大坂の医療環境」を開催した。（講師：住友史料館　海原亮研究員）
7月7日	全国同時七夕講演会大阪大学講演が待兼山修学館セミナー室にて行われた。この行事は日本天文学会と天文教育普及研究会による企画で、大阪大学講演は大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻と総合学術博物館との共催で行われた。
7月17日	サイエンスカフェ＠待兼山№ 47「スケジューリング理論事始めーどの宿題から始めたら良いの？」を行った。（講師：基礎工学研究科　潮俊光教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
7月24日	サイエンスカフェ＠待兼山№ 48「マチカネワニを探求すると？」を行った。（講師：総合学術博物館　江口太郎館長　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
7月31日	大阪大学理学部化学科、日本学術振興会主催で大阪大学理学部化学科ー日体験入学～身の回りを化学の目で見れば～（「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」）が理学部化学科にて行われた。（共催：大阪大学総合学術博物館、日本化学会）
8月4日	サイエンスカフェ＠待兼山№ 49「塗り替えられる歴史像ー室町幕府の場合ー」を行った。（講師：総合学術博物館　松永和浩助教）
8月7日	サイエンスカフェ＠待兼山№ 50「母乳育児とセルフメディケーションーたんぽぽコーヒーの活用ー」を行った。（講師：薬学研究科　東由子特任研究員）
8月17日	当館ととよなかサイエンスネット実行委員会主催で小学校 5、6 年生の方対象の「夏の小学生科学体験教室」を行った。1 日目は「水の硬さって、なに？」というタイトルで授業を行った。（講師：理学研究科　福本敬夫助教）
8月18日	「夏の小学生科学体験教室」2 日目は「戦国大名を系図からみてみよう」というタイトルで授業を行った。（講師：総合学術博物館　松永和浩助教）
8月19日	「夏の小学生科学体験教室」3 日目は「冷やせ！　－195℃の不思議な世界」というタイトルで授業を行った。（講師：総合学術博物館　宮久保圭祐准教授）
8月20日	「夏の小学生科学体験教室」最終日は「花粉管を伸ばしてみよう」というタイトルで授業を行った。（講師：理学研究科　髙木慎吾准教授）
8月21日	サイエンスカフェ＠待兼山№ 51「折畳みの科学ー折畳める円筒、折畳めない円筒ー」を行った。（講師：基礎工学研究科　小林秀敏教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）

8月28日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 52「西洋の歴史とキリスト教」を行った。（講師：文学研究科　江川温教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
9月4日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 53「相対性理論の世界」を行った。（講師：理学研究科　東島清教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
9月11日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 54「固体表面の化学」を行った。（講師：理学研究科　宗像利明教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
9月25日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 55「幕末の大坂の浮世絵「浪速百景」ーなにがえがかれているか、みんなで探ろうー」を行った。（講師：総合学術博物館　橋爪節也教授　共催：とよなかサイエンスネット実行委員会）
10月10日	総合学術博物館湯川記念室主催、日本物理学会大阪支部共催、日本物理教育学会近畿支部後援で第 26 回湯川記念講演会「フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡でみる高エネルギー宇宙像」（講演者：広島大学宇宙科学センター　大杉節教授）と「脳情報による新しいヒューマンインターフェース技術」（講演者：富山県立大学工学部　唐山英明准教授）が大阪大学中之島センターにて行われた。
10月12日～16日	特別展　抵抗を縫う―チリのキルトにおける触覚の物語が大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文学」主催、当館共催、大阪大学 21 世紀懐徳堂協力で開催された。
10月16日～11月20日の毎週土曜日	総合学術博物館湯川記念室主催の高校生を対象とした行事「6 週間でニュートンになろう！　最先端の物理を高校生に」が豊中キャンパスで 6 回に分けて行われた。
10月27日～1月8日	第 12 回企画展「線の表現力―アートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」を開催した。本館はじめての本格的美術展である。
11月7日	ミュージアムレクチャー第 27 回「線描の軌跡」を開催した。（講師：画家・宝塚大学講師　中村貞夫）
11月14日	畑田家住宅活用保存会主催、大阪大学総合学術博物館協賛で教育フォーラム「これからの教育ー変えねばならないこと、変えてはならないこと」が開催された。（場所：国の登録文化財　畑田家住宅）同時に畑田家住宅の一般公開も行われた。
11月27日	ミュージアムレクチャー第 28 回「愚直な音楽ージョンケージによる図形楽譜の試みー」を開催した。（講師：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター　上野正章共同研究員）
12月4日	ミュージアムレクチャー第 29 回「能と絵の出会いー須田国太郎　能・狂言デッサン再考ー」を開催した。（講師：大阪大学　天野文雄名誉教授）
12月4日	ミュージアムレクチャー第 30 回「＜能＞と父・須田国太郎」を開催した。（講師：JR 東海　須田寛相談役）
12月11日	ミュージアムレクチャー第 31 回「行為の痕跡：1950 年代＜具体＞作品の線」を開催した。（講師：芦屋市立美術博物館　加藤瑞穂主任学芸員）
12月22日	待兼山修学館セミナー室にて「消費生活セミナー in 阪大　抜けられへんで！　契約のアリ地獄～抜け出す方法を教えます～」が豊中市主催で行われた。（講師：NPO 法人 C. キッズ・ネットワーク　甲田敏江　協力：大阪大学総合学術博物館、大阪大学生活協同組合）
平成23年	
1月8日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 56「分子の動きを追いかける」を行った。（講師：総合学術博物館　宮久保圭祐准教授）
1月15日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 57「放射線とのつきあいかたーその効用とリスクー」を行った。（講師：理学研究科　松多健策准教授）
1月22日	サイエンスカフェ＠待兼山No. 58「高速道路の渋滞はなぜ起こるー渋滞発生の物理ー」を行った。（講師：理学研究科　湯川諭准教授）

1月29日	サイエンスカフェ＠待兼山No.59「「地域」って何だろう？」を行った。（講師：文学研究科　堤研二教授）
2月5日	サイエンスカフェ＠待兼山No.60「ギターはいつ「カラフル」になったか」を行った。（講師：文学研究科　春木有亮助教）
2月12日	サイエンスカフェ＠待兼山No.61「漢方ってなあにー漢方・入門の入門ー」を行った。（講師：薬学研究科　島田佳代子（大阪大学後期課程１年））
2月26日	サイエンスカフェ＠待兼山No.62「ホタルの光のひみつ」を行った。（講師：総合学術博物館　豊田二郎准教授）
3月12日	サイエンスカフェ＠待兼山No.63「花びらの枚数の決まり方を考えよう」を行った。（講師：理学研究科　藤本仰一教授）
3月19日	サイエンスカフェ＠待兼山No.64「映画と演劇の歴史」を行った。（講師：総合学術博物館　横田洋研究支援推進員）
3月20日	畑田家住宅活用保存会主催、羽曳野市・羽曳野市教育委員会後援、大阪大学総合学術博物館協賛で第13回畑田塾「2011年私たちの四季、音楽とガラスの世界に遊ぶ」が開催された。（場所：国の登録文化財　畑田家住宅　出演：ヴァイオリン　木野雅之　ピアノ　吉山輝　ガラスアート　畑田美智子）
3月26日	サイエンスカフェ＠待兼山No.65「里山の植物文化」を行った。（講師：総合学術博物館　道下雄大招へい研究員）

3.2 関連記事一覧

新聞（博物館関連）

掲載日	掲載誌名	内　容
平成 22 年 5 月 14 日	THE JAPAN TIMES	OPENING KANSAI "Tekijyuku; The origin of Osaka Univrsity
6 月　8 日	朝日新聞	Do! 風来坊　旅・文化　　企画展「えがかれた適塾」を訪ねる…
7 月 14 日	大阪日日新聞	40 万年前の " 謎 " 解説　マチカネワニ専門書を発行 阪大博物館江口館長ら
7 月 14 日	産経新聞	古代巨大ワニのすべてが分かる　阪大総合学術博物館館長が学術書刊行
8 月 31 日	朝日新聞	宇宙から素粒子まで　高校生に最先端科学を
9 月 21 日	産経新聞	戦前の「奉安庫」解錠始まる　大阪・豊中市
9 月 21 日	朝日新聞	壁を壊したら「奉安庫」 65 年ぶり　阪大・豊中キャンパス
9 月 28 日	毎日新聞	母校に 3000 点寄贈　洋画家・中村さん　阪大が感謝状
10 月 10 日	毎日新聞	特別展示：チリ軍事独裁下、人々の思い　抵抗のキルト 40 点 -- 阪大博物館 / 大阪
10 月 10 日	THE JAPAN TIMES	Osaka museum exhibits Chilean ‘arpillera’ art
10 月 17 日	朝日新聞	最先端の物理学　高校生らに講義
10 月 22 日	京都新聞	【大阪大学総合学術博物館】 線の表現力
10 月 29 日	THE JAPAN TIMES	OPENING KANSAI “Line: Freedom of Expression’”
11 月 10 日	朝日新聞	A+1　美術館・博物館　大阪大学総合学術博物館　線の表現力（案内）
11 月 27 日	読売新聞	光明皇后の経典確認 「一切経」正倉院と筆跡同じ
11 月 27 日	毎日新聞	この写経　正倉院級　光明皇后主導　阪大名誉教授の遺品
11 月 27 日	朝日新聞	光明皇后　写経の原本　阪大博物館「正倉院宝物級」
11 月 27 日	北日本新聞	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	千葉日報	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	山形新聞	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	福島民報	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	京都新聞	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	福井新聞	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	日本経済新聞	光明皇后発願の写経と判明　大阪大、仏教研究者の遺品
11 月 27 日	産経新聞	光明皇后の写経原本　箕面で発見「正倉院宝物級」
12 月 22 日	朝日新聞	A+1　美術館・博物館　大阪大学総合学術博物館　線の表現力（案内）

新聞　(博物館教員関連)

掲載日	掲載誌名	内　容
平成 22 年 5 月 12 日	日本経済新聞	商都・大阪発の「おまけ」文化　値段「まける」が源流（橋爪節也教授）
6 月 27 日	産経新聞	「露地庵先生のアンポン譚」（評・橋爪節也教授）
10 月　1 日	産経新聞	「露地庵先生のアンポン譚　第四十三話 新・心斎橋論」森村泰昌 （コメント・橋爪節也教授）

その他刊行物

	刊号	内容
これがウチの十八番やねん！ いしばし商店街	2010 年 4 月 18 日～ 20 日	企画展　えがかれた適塾　（開催のお知らせ）
頭がよくなる遊び場ガイド プレジデント社	2010 年版	2010 年版　学ぶ意欲を刺激する！　お薦め知的スポット　ベスト 100 選 前進は適塾　大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
ともも 有限会社　ともも	2010 年 5 月 No.105	とももメッセージボード　ギャラリー・催し 大阪大学総合学術博物館　『えがかれた適塾』（案内）
広報いけだ 池田市	2010 年 5.1 第 1074 号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
シティライフ北摂 WEST 版 株式会社　シティライフ NEW	2010 年 5 月号 vol.87	緒方洪庵生誕 200 年記念・大阪大学創立 80 周年プレイベント えがかれた適塾
これがウチの十八番やねん！ いしばし商店街	2010 年 5 月 18 日～ 20 日	企画展　えがかれた適塾　（開催のお知らせ）
広報いけだ 池田市	2010 年 6.1 第 1075 号	みゅうじあむ・がいど　大阪大学総合学術博物館 緒方洪庵生誕 200 年記念・大阪大学創立 80 周年プレイベント　えがかれた適塾
これがウチの十八番やねん！ いしばし商店街	2010 年 6 月 17 日～ 19 日	企画展　えがかれた適塾　（開催のお知らせ）
阪大 NEWSLETTER 大阪大学	No.48 2010　Summer	大阪大学総合学術博物館 モノの持つリアリティーで勝負　博物館の「カフェ」で気軽に科学談義を
これがウチの十八番やねん！ いしばし商店街	2010 年 7 月 16 日～ 18 日	サイエンスカフェ＠待兼山（お知らせ）
大人組 Kansai 株式会社　プラネットジアース	2010 年 7 月 7 月号　vol.64	大阪大学総合学術博物館第 11 回企画展・適塾特別展示「えがかれた適塾」 小説や漫画、映画として現代に描かれた適塾
阪大 NOW 大阪大学	2010.8 No.119	* 第 26 回湯川記念講演会 / 最先端の物理を高校生に *Saturday Afternoon Physics 2010
広報いけだ 池田市	2010 年 9.1 1078 号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
ベストガイド大阪　2011 年版 成美堂出版	2011 年度版	大阪アカデミックミュージアム探訪 大学と地域社会の連携を目ざす　大阪大学総合学術博物館
わくわく理科　6 啓林館	平成 23 年度用	理科の広場（歴史・生命）　大学で見つかった傷ついたワニの化石
日経サイエンス 株式会社　日経サイエンス	2010 年 10 月号	新製品・企業インフォメーション　大阪大学総合学術博物館叢書 「巨大絶滅動物　マチカネワニ化石」
生産と技術 編集　大阪大学生産技術研究会 発行　社団法人生産振興協会	2010　Autumn 第 62 巻　第 4 号	博物館リニューアル・オープンから 5 万人目の入館者（随筆）
阪大 NOW 大阪大学	2010.10 No.120	* 共通教育本巻（イ号館）から旧制浪速高等学校時代の「奉安庫」を発見 * インフォメーション　大阪大学総合学術博物館　第 12 回企画展
TOYRO　CULTURE 自然総研	2010.10 vol.109	待兼山・知と美の山
ともも 有限会社　ともも	2010 年 11 月 No.111	とももメッセージボード　ギャラリー・催し 大阪大学総合学術博物館　『線の表現力』（案内）
広報いけだ 池田市	2010 年 11.1 1080 号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
これがウチの十八番やねん！ いしばし商店街	2010 年 11 月 17 日～ 19 日	企画展　線の表現力　（開催のお知らせ）
TOYRO　CULTURE 自然総研	2010.12 vol.110	豊中で発見！国内最初のワニ化石『マチカネワニものがたり』 2011 年 1 月 24 日　イベント予告
月刊書道情報誌　書道界 藤樹社	平成 22 年 12 月 15 日発行 12 月号	●ランダム・ハウス● 多様“線”が織り成すアートの諸相 大阪大学総合学術博物館　第 12 回企画展　線の表現力
マチカネワニどら焼き 津の国屋	2010 年 12 月	マチカネワニどら焼き（包み）　マチカネワニに関しての記載監修
大人組 PLATINUM 株式会社ゆめディア	2011 年 1·2 月合併号 第 2 巻　第 1 号　通巻 3 号	INFORMATION　Museum　●大阪大学総合学術博物館 「線の表現力　アートの諸形態、須田国太郎《能･狂言デッサン》から広がって」
2010 おはこ市　歳末ビッグセール いしばし商店街	2010 年 12 月 14 日～ 18 日	企画展　線の表現力　（開催のお知らせ）
浪高同窓会報 旧制浪速高等学校同窓会	平成 22 年 12 月 31 日 第 53 号	報道：共通教育本館（イ号館）から旧制浪花高等学校時代の「奉安庫」を発見

その他刊行物

	刊号	内容
歴史読本 新人物往来社	2011 年 3 月号 第 56 巻 3 号	歴史ニュース　発掘・発見最前線 光明皇后発願の写経原本を発見
大阪春秋 新風書房	平成 23 年　新春号 通巻 No.141	特集●没後 80 年　小出楢重 芦屋市立美術博物館×大阪大学総合学術博物館　小出楢重を斜め歩く
声のノート 豊中市	平成 23 年 1 月 24 日発行 1 月号	広報誌モニターアンケート（1 月号）から
阪大 NOW 大阪大学	2011.2 No.123	キャンパスニュース 第 26 回湯川記念講演会 / 最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2010

その他の刊行物（博物館教員関連）

	刊　号	内　容
月刊島民　中之島 月刊島民ナカノシマ大学	Vol.22　2010　5/1	「大阪市立近代美術館（仮称）」から見えてくるもの。 （橋爪節也教授）
いちょう並木 大阪市教育委員会	2010　May 5/10-6/9　No.335	おおさか KEY わーど第 2 回　大阪が沸騰した記憶 -EXPO’70 から 40 年 （橋爪節也教授）
いちょう並木 大阪市教育委員会	2010　June 6/10-7/9　No.336	おおさか KEY わーど第 3 回　大阪の偉人のドラマをもっとえがいてくれないか （橋爪節也教授）
化学史研究 化学史学会	第 37 巻　第 4 号　2010 年 （通巻第 133 号）	広場 化学教育と博物館に携わって : 日本化学会化学教育賞を受賞して （江口太郎館長）
WEDGE 株式会社ウェッジ	2011 年 1 月号	生き残り戦略を大阪から学ぶ （橋爪節也教授）
鴨東通信 思文閣出版	2011.1　No.80　冬	史料探訪 光明皇后発願　出曜経　巻第四 （松永和浩助教）

インターネット記事

	内　容
OSAKA － INFO　大阪観光案内 財団法人 大阪観光コンベンション協会	Sight and Facilities 大阪大学総合学術博物館
全国旅そうだん 全国地域観光情報センター 日本観光協会	観光情報　博物館　大阪大学総合学術博物館
全国旅そうだん 全国地域観光情報センター 日本観光協会	今月のイベント　大阪大学総合学術博物館　第 11 回企画展・適塾特別展示 緒方洪庵生誕 200 年記念・大阪大学創立 80 周年プレイベント　えがかれた適塾
Yahoo!JAPAN　ニュース 時事通信社	奈良時代の写経断簡発見＝光明皇后が発願、正倉院と一致－大阪大
カリスマ案内人と行く大阪まち歩き 図書出版　創元社	第 7 回　アートなミナミを回遊する【前編】 心斎橋筋界隈いまむかし（橋爪節也教授）
編集者のホンネ -ChemChemClub 日本化学会化学だいすきクラブ	低炭素社会って？？？　（2010 年 12 月 14 日）
カリスマ案内人と行く大阪まち歩き 図書出版　創元社	第 8 回　アートなミナミを回遊する【後編】 道頓堀の銘板からウクレレまで（橋爪節也教授）

ラジオ・テレビ

番組名	日　時	内　容
箕面 FM「タッキー 816」（ラジオ）	5/13･16	総合学術博物館の概要や開催中の企画展「えがかれた適塾」の紹介
ARIGATO かみじょうたけし （テレビ）	6/7 ～ 6/11	総合学術博物館の案内
歴史街道 ～わたしたちのまちの歴史と文化～ （テレビ）	9 月 1 日～ 9 月 14 日内の 土日	日本初！に出会える町とよなか～大阪府豊中市～ 大阪大学総合学術博物館（マチカネワニ）
日本放送協会（NHK）ニュース （テレビ）	11 月 27 日	光明皇后指示で作成　写経発見

3.3　サイエンスカフェ＠待兼山
“土曜の午後はミュージアム”

サイエンスカフェ@待兼山

カフェ番号*1	実施日	応募受付期間	タイトル	コーディネーター	所属*2	対象
47★	7/17（土）	受付中～6/28（月）	スケジューリング理論事始め ―どの宿題から始めたら良いの？―	潮　俊光	基	中学生以上
48★	7/24（土）	受付中～7/5（月）	マチカネワニを探求すると？	江口　太郎	博	小中学生、親子
49	8/4（水）	受付中～7/12（月）	塗り替えられる歴史像 ―室町幕府の場合―	松永　和浩	博	中学生以上
50	8/7（土）	受付中～7/7（水）	母乳育児とセルフメディケーション ―たんぽぽコーヒーの活用―	東　由子	薬	制限なし、ただし妊娠・授乳中の方歓迎
51★	8/21（土）	6/21（月）～7/21（水）	折畳みの科学 ―折畳める円筒、折畳めない円筒―	小林　秀敏	基	中学生以上
52★	8/28（土）	6/28（月）～8/9（月）	西洋の歴史とキリスト教	江川　温	文	高校生以上
53★	9/4（土）	7/5（月）～8/4（水）	相対性理論の世界	東島　清	理	制限なし
54★	9/11（土）	7/9（金）～8/11（水）	固体表面の化学	宗像　利明	理	制限なし
55★	9/25（土）	7/26（月）～8/25（水）	幕末大坂の浮世絵「浪花百景」―なにがえがかれているか、みんなで探ろう―	橋爪　節也	博	制限なし

*1　★つきのカフェはとよなかサイエンスネット実行委員会との共催です。
*2 博：総合学術博物館、理：理学研究科、基：基礎工学研究科、文：文学研究科、薬：薬学研究科（いずれも大阪大学所属）

場所：大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館3階セミナー室
時間：毎回午後2：00～3：30（午後5：00閉館）
定員：各回とも30名程度
参加費：飲み物代(200円)が必要

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したい―そんな思いで始めて3年目になり、おかげさまでご好評をいただいています。お気軽にご参加ください。

協力：大阪大学21世紀懐徳堂

申込方法：Webフォーム、あるいは往復はがき（カフェ1タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入ください）を下記宛送付。
〒560-0043　豊中市待兼山町1-16
大阪大学総合学術博物館
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/
各カフェにつき上記応募期間中〆切日必着。応募多数の場合、原則として抽選で決定します。当選者には、メールもしくははがきでお知らせします。

申込方法：Webフォーム、あるいは往復はがき（カフェ１タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入ください）を下記宛送付。
〒560-0043　豊中市待兼山町1-16
大阪大学総合学術博物館
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/
各カフェの開催日の2ヶ月前から1ヶ月前必着。応募多数の場合、原則として抽選で決定。当選者にはメールもしくは葉書でお知らせします。

No. 56　1月8日（土）
分子の動きを追いかける
宮久保圭祐(総合学術博物館)
中学生以上

No. 57　1月15日（土）
放射線とのつきあいかた
ーその効用とリスクー
松多健策（理学研究科）
中学生以上、親子連れ歓迎

No. 58　1月22日（土）
高速道路の渋滞はなぜ起こる
ー渋滞発生の物理ー
湯川　諭（理学研究科）
中学生以上

No. 59　1月29日（土）
「地域」って何だろう？
堤　研二（文学研究科）
中学生以上

No. 60　2月5日（土）
ギターはいつ「カラフル」になったか
春木有亮（文学研究科）
制限なし

No. 61　2月12日（土）
漢方ってなあに
ー漢方・入門の入門ー
島田佳代子（薬学研究科）
中学生以上(学生歓迎)

No. 62　2月26日（土）
ホタルの光のひみつ
豊田二郎（総合学術博物館）
制限なし

No. 63　3月12日（土）
花びらの枚数の決まり方を考えよう
北沢美帆・藤本仰一（理学研究科）
中学生以上

No. 64　3月19日（土）
映画と演劇の歴史
横田　洋（総合学術博物館）
制限なし

No. 65　3月26日（土）
里山の植物文化
道下雄大（総合学術博物館）
中学生以上

場所：大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館3階セミナー室
時間：午後2：00～3：30（午後5：00閉館）
定員：各回とも30名程度
参加費：飲み物代(200円)が必要

サイエンスカフェ＠待兼山

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したい―。3年目に入り、ますますご好評をいただいています。お気軽にご参加ください。

協力：豊中市教育委員会・大阪大学２１世紀懐徳堂

カフェ番号	予定日	コーディネーター	所属	タイトル	対象	要旨
47	2010年 7/17(土)	潮　俊光	基礎工学研究科	スケジューリング理論事始め ーどの宿題から始めたら良いの？ー	中学生以上	自動車から家電製品まで、多くの工業製品に計算機が使われています。計算機は様々な処理を指定された時刻までに完了する必要があります。これは、たくさんの宿題を期日までに仕上げる生徒と同じです。どの順番で宿題に取り組めば、提出期限に遅れることなくすべての宿題を仕上げられるでしょうか。この問題はスケジューリング問題と言います。今までに提案されたスケジューリング法の基本的な性質を紹介したいと思います。
48	7/24(土)	江口　太郎	総合学術博物館	マチカネワニを探求すると？	小中学生、親子	マチカネワニって知ってますか？恐竜との違いは？実物化石をじっくり観察すると、どんなことがわかるのだろうか。大学博物館の標本は、単に展示するだけでなく、いまでも研究や教育に活用されています。いっしょにマチカネワニを探求してみましょう。
49	8/4（水）	松永　和浩	総合学術博物館	塗り替えられる歴史像 ー室町幕府の場合ー	中学生以上	足利尊氏、義満、義政…みなさんは室町幕府の将軍にどういうイメージを持っていますか？実はそのイメージ、これまで何度か変転してきました。しかし、真実は一つしかありません。それでも歴史像が塗り替えられるとはどういうことなのか、つまりは歴史学はどう発展していくものなのか、探っていきましょう。
50	8/7（土）	東　由子	薬学研究科	母乳育児とセルフメディケーション ーたんぽぽコーヒーの活用ー	制限なし、ただし妊娠・授乳中の方歓迎	母乳に良いとして妊産婦に経験的に用いられてきた薬用ハーブとしての「たんぽぽ」と、その根を焙煎した「たんぽぽコーヒー」についてご紹介します。母乳育児中でいつも以上に健康に気を遣っている・・・そんなお母さんたちのセルフメディケーションツールとして、ノンカフェインのハーブ飲料「たんぽぽコーヒー」を活用してみませんか？
51	8/21(土)	小林　秀敏	基礎工学研究科	折畳みの科学 ー折畳める円筒、折畳めない円筒ー	中学生以上	円筒の側面が、規則正しく並んだ三角形で分割されているオブジェ、通常は円筒の軸方向に押しても簡単には折畳めませんが、ある条件さえ満足していれば、簡単に折畳めます。このカフェでは、最初に、円筒の折畳み条件について概説します。その後で、示された折畳み条件を満たす円筒を自ら考え、色紙を使った自分オリジナルの折畳み円筒造りに挑戦し、組み立てたオリジナル円筒が本当に折畳めることを体験します。
52	8/28(土)	江川　温	文学研究科	西洋の歴史とキリスト教	高校生以上	近代以前の人びとにとって、生活に根ざした信仰とはどのようなものでしょうか。この問題は、広く比較文明の見地から考えるべき問題ですが、今回は中世以降のヨーロッパについて考えます。中世以降のヨーロッパでは、キリスト教信仰が支配的であるという見方が一般的です。しかしそのキリスト教信仰はどのようなものでしょうか。あらかじめ、いくつか資料をお贈りしますので、それを読んできて下さい。そして感じたことを自由に話していただこうと思います。ただし議論の核をいくつか、あらかじめ提起しておきましょう。 1）中世以降のヨーロッパ文明が一神教の文明だというのは本当でしょうか。 2）外来の信仰がある地域に根付くためには、何が必要なのでしょうか。 3）知識人と民衆の宗教信仰は、どのように違うのでしょうか。
53	9/4（土）	東島　清	理学研究科	相対性理論の世界	制限なし	光の速さは一定らしい。 それがどうしたというのだ？ そうすると、走っている人の時間はゆっくり進む事になるらしい。 まさか。 それだけじゃない。走っているものは短くなってしまうそうだ。 馬鹿なことを言うな。 そんな馬鹿なことを話してみたい。あなたは信じますか？
54	9/11(土)	宗像　利明	理学研究科	固体表面の化学	制限なし	金属などの固体の表面を磨くとピカピカになります。しかし、その表面にはたくさんの原子や分子がくっついています。表面に分子がくっつくことにより、「触媒」や「有機発光素子」などが実現しています。固体表面の分子の性質を簡単に解説します。
55	9/25(土)	橋爪　節也	総合学術博物館	幕末大坂の浮世絵「浪花百景」 ーなにがえがかれているか、みんなで探ろうー	制限なし	「浪花百景」は大坂の名所旧跡を三人の浮世絵師が描いた錦絵の揃いものです。そこに何が描かれているのか、三人の絵師たちは競い合ってどんな工夫をしたかなど、描かれている名所旧跡の歴史や由来のみならず、モチーフや構図、色彩などを、参加者全員で謎解きしていきましょう。

カフェ番号	予定日	コーディネーター	所属	タイトル	対象	要旨
56	2011 年 1/8（土）	宮久保 圭祐	総合学術博物館	分子の動きを追いかける	中学生以上	身の回りのいろいろな物質は分子が集まってできていると学校では教わりますが、それを実感することはあるでしょうか？分子はただ集まっているだけでなく、その中で動くことによっていろいろな現象が起こります。分子の動きはどのようなものなのか、それをどのように調べるのか紹介します。
57	1/15（土）	松多　健策	理学研究科	放射線とのつきあいかた ーその効用とリスクー	中学生以上 親子連れ歓迎	身の回りの自然界には、結構いろんな放射線が飛び交っているって知ってましたか？原子力や星のエネルギーの源であり、原子核の研究は言うに及ばず、医療分野でも、なくてはならない放射線技術。放射線はどんな風に役立っているのでしょうか？危なくないんでしょうか？放射能は地震を起こす？大気の成分に、太古からの放射能の証拠がある？地震予知に使える？このカフェでは放射線を実際に目で見て、放射線とのつきあい方を考えてみましょう。
58	1/22（土）	湯川　諭	理学研究科	高速道路の渋滞はなぜ起こる ー渋滞発生の物理ー	中学生以上	行楽シーズンになると、よく高速道路での渋滞がニュースになります。なぜ渋滞が発生するのでしょう。単純に道路を走っている車の数が多いからでしょうか。実は渋滞が発生するということの物理的背景には、「相転移」という現象が関係していることが知られています。車の数が多いことはそんなに重要ではなく、水が氷になる時に見られるような相転移が本質的なのです。ここでは渋滞発生の物理について探っていきましょう。
59	1/29（土）	堤　研二	文学研究科	「地域」って何だろう？	中学生以上	「地域」という言葉をよく聞きますが、「地域」って何かとたずねられたら、答えるのが意外とかんたんではないようです。またそういう「地域」のことを、どうやって考えたり、調べたりすればいいのでしょうか？こういう、ゆるやかなテーマについて、いっしょに考えましょう。
60	2/5（土）	春木　有亮	文学研究科	ギターはいつ「カラフル」になったか	制限無し	現在、世界で最も人気のある楽器の一つと言ってよいギター。いわゆる「クラシック・ギター」は、19 世紀のヨーロッパでほぼ現在のかたちにたどりつき、いわゆる「フォーク・ギター」、「エレキ・ギター」は、20 世紀前半にアメリカで生まれました。ヨーロッパのギターとアメリカのギターは、さまざまな点で異なりますが、一目見てわかるのは、アメリカのギターが色とりどりであることです。いつ、なぜ、アメリカのギターには「色」がついたのか。100 年前のギターの実物を見ていただきつつ、お話します。
61	2/12（土）	島田 佳代子	薬学研究科	漢方ってなあに ー漢方・入門の入門ー	中学生以上 （学生歓迎）	みなさんは漢方に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。苦い？高い？なかなか効かない？ー最近注目が高まってきている一方で、漢方の真実の姿はあまり知られていません。クイズや体験を通して様々な誤解を解きながら、漢方の世界に迫ってみましょう。
62	2/26（土）	豊田　二郎	総合学術博物館	ホタルの光のひみつ	制限無し	ホタルを素手でとったことがありますか？熱かったでしょうか？いまでは、アニメ映画「火垂るの墓」でしかホタルを知らない人も多いかもしれません。ホタルが光るしくみとまったく同じことを試験管の中で行い、電灯とは違う光（化学発光）の性質と酵素反応について、参加者全員に体験していただきます。
63	3/12（土）	藤本　仰一 北沢　美帆	理学研究科	花びらの枚数の決まり方を考えよう	制限なし 親子連れ歓迎 （対象をチラシ配布時と変更）	人間の指の本数は５本、桜の花びらは５枚と、生き物の多くの形には決まった数があります。また、４つ葉のクローバーは幸せの印と言いますから、決まった数から稀（まれ）にずれることもあります。数を決める仕組み、ずれる仕組みは、最先端の科学でもあまりわかっていません。植物の形を眺めながら、数を決める仕組みをあーだこーだと一緒に考えてみましょう。 花が生まれる時には、花びら同士は押しくらまんじゅうのように、お互いに反発しあうようです。各参加者が１つの花びらとなってもらい、その状況を身をもって実験します（激しい運動ではありません）。反発に応じて、花びらがどう配置され、さらに、花びらの数をも決めることができるでしょうか？
64	3/19（土）	横田　洋	総合学術博物館	映画と演劇の歴史	制限無し	私たちは数十年も前の古い映画を鑑賞することがあります。また数百年前に書かれた古い演劇作品が現代でも数多く上演され、それらを観賞することができます。古い作品を娯楽としてあるいは芸術として純粋に鑑賞することは大変有意義でまた私たちの楽しみとするところですが、一方で、作品を歴史的な流れのなかでながめていくと、そこにさらに新たな魅力を発見することもできます。歴史的なものの見方が変化すると、作品の歴史的な意義だけでなく、作品の芸術的な価値自体が大きく捉え直されることもあります。映画と演劇とその歴史について考えてみましょう。
65	3/26（土）	道下　雄大	総合学術博物館	里山の植物文化	中学生以上	日本では、植物を利用する様々な文化があります。里山でのフィールドワーク、そして各自の経験を通して、里山の文化や植物の存在意義について考えてみましょう。

3.4 夏の小学生科学体験教室

主催：大阪大学総合学術博物館、とよなかサイエンスネット実行委員会
時期：平成 22 年 8 月 17 日(火)～20 日(金)

文系、理系を問わず様々な分野に対する興味や関心を、子どもたちに持ってもらうことを目指して「夏の小学生科学体験教室」を開催した。昨年度と同じく自由応募制(小学校 5、6 年生対象)という形をとり、大阪大学総合学術博物館と豊中市とで連携して開催した。当館及び理学研究科所属の講師 4 人が実験、実演を交えた体験型理科授業を行い、当日は子どもたちの元気な声がとびかった。(当日の出席者数はのべ 89 名)。

「水の硬さって、なに？」

「戦国大名を系図からみてみよう」

「冷やせ!　－195℃の不思議な世界」

「花粉管を伸ばしてみよう」

「夏の小学生科学体験教室」授業内容

8 月 17 日(火)

タイトル：「水の硬さって、なに？」

講師：福本　敬夫　助教（理学研究科）

参加人数：27 人

概要：お風呂で体を洗おうと石けんを使うとよく泡立ちます。　ところが、なかなか泡立たない水もあります。よく泡立つ水とあまり泡立たない水とはどこが違うのでしょう。日本の水と外国の水とを比べてみましょう。

8 月 18 日(水)

タイトル：「戦国大名を系図からみてみよう」

講師：松永　和浩　助教（総合学術博物館）

参加人数：20 人

概要：実力がものをいう戦国時代では、いろんなルーツをもつ大名たちがいました。上杉謙信、伊達政宗などのルーツを系図を使ってたどり、どんな戦国大名だったのか考えてみましょう。

8 月 19 日(木)

タイトル：「冷やせ!　－195℃の不思議な世界」

講師：宮久保　圭祐　准教授（総合学術博物館）

参加人数：26 人

概要：身の回りのものを思いっきり冷やして－195℃近くまで冷やすと、普段見ているのとは違う性質が表れてきます。いろいろなものを冷やしてみましょう。

8 月 20 日(金)

タイトル：「花粉管を伸ばしてみよう」

講師：髙木　慎吾　准教授（理学研究科）

参加人数：16 人

概要：花粉はめしべにつくと花粉管を伸ばします。この管を通って花粉の核(精細胞)は卵細胞にたどりつき、受精が起こります。花粉管を伸ばして顕微鏡でのぞいてみましょう。(※セミナー室での説明のあと別の建物の実験室で顕微鏡観察を行います。)

3.5 専任教員活動報告

平成22年度教員実績表（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

職名・氏名　准教授・高橋京子

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・薬学研究科・博士課程前期	伝統医薬解析学特別講義
前期・薬学部	薬用植物学（分担）
前期・共通教育基礎セミナー	博物館体験コース（分担）

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
8名	0名	0名

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
健康福祉学科講義・漢方薬入門Ⅰ、Ⅱ	兵庫県 阪神シニアカレッジ	2010年 6月・10月

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
Curdione plays an important role in the inhibitory effect of *Curcuma aromatica* on CYP3A4 in Caco-2 Cells.	Hou XL, Nakamura-H E, Nakase-T T, Tanaka K, Takahashi K, Komatsu K, Takahashi K	*Evid. Based. Complement. Alternat. Med.*	doi: 10.1093/ecam/nep229	2010年
Quality and safety issues related to traditional animal medicine: role of taurine.	Takahashi K, Azuma Y, Shimada K, Saito T, Kawase M, Schaffer SW	*J. Biomed. Sci.,*	17 Suppl 1 S44	2010年

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
The relation between clinical effects of *Tokishakuyakusan* and the identity of *Paeonia lactiflora* materials.	Shimada K, Kawase M, Shibahara N, Nakamura Y, Saito T, Takahashi K	*J. Ethnopharmacol.*	132, 438-442	2010 年
和漢薬の特質 ーウコン類生薬における品質の多様性（Review）（特集 温故知新ー伝統医薬学からの挑戦）	高橋京子	生物工学会誌	88(8), 395-398	2010 年
漢方薬の臨床効果は構成生薬の品質を反映する	柴原直利、高橋京子	日薬理誌（Folia Pharmacol Jpn）	137:8-12	2011 年

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
An approach towards avoidance of pharmacokinetic interaction by traditional medicines	内蒙古大学(中国・フフホト)	2010 年 10 月 15 日	
健康審美眼：ブランドハーブ（賢いハーブ選び）のすすめ	吹田市メイシアターホール	2010 年 12 月 5 日	吹田市薬剤師会主催 市民すこやか講演会
漢方薬の品質：薬剤師にもとめられるマテリアルサイエンス	吹田市保健センター	2011 年 2 月 8 日	吹田市薬剤師会主催 処方箋懇話会

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
国産薬用芍薬の意義：当帰芍薬散の臨床効果とイオノミクス解析	第 61 回日本東洋医学会(名古屋)	2010 年 6 月 4 日－6 日	口頭発表
腊葉標本とタンポポ調査からみた大阪大学キャンパスにおける自然環境保全の評価	第 5 回博物科学会（仙台）	2010 年 6 月 24 日－25 日	口頭発表
メスバウアー効果の医薬品評価への応用	アイソトープ・放射線研究発表会（東京）	2010 年 7 月 7 日	口頭発表
Healthy Support for QOL Improvement by Self-Medication using Kampo Medicine in Antarctic Expedition	Workshop on Antarctic Medical Research and Medicine, (Tokyo) 2010	2010 年 7 月 16 日－17 日	口頭発表
天然牛黄および代替品の品質評価：メタロミクス応用の試み	第 27 回和漢医薬学会	2010 年 8 月 29 日－30 日	ポスター発表

タイトル	場所	年月日	備考
Quality of Kampo Formulations and Pharmacokinetic Interaction	The 8th International Symposium on Natural Medicine（中国・大連）	2010年10月10日－11日	口頭発表(招待講演)
The relation between the quality of *Paeonia lactiflora* and the clinical effect of *Tokishakuyakusan* through ionomics analysis	The 8th International Symposium on Natural Medicine（中国・大連）	2010年10月10日－11日	口頭発表
薬用芍薬の品質評価と代替可能な園芸種の探索：メタロミクスの観点から	第57回日本生薬学会（徳島）	2010年10月25日－26日	口頭発表
Curcuma 属生薬関連医薬品の品質評価に対するメタロミクスの応用	平成22年度共同研究報告セミナー	2011年3月17日	口頭発表
大和・大宇陀『森野旧薬園』の植物相分析に基づく時系列的解析	第131回日本薬学会（静岡）	2011年3月29日－31日	口頭発表
Curcuma 属生薬の品質評価におけるメタロミクスの応用	第131回日本薬学会（静岡）	2011年3月29日－31日	口頭発表

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金［基盤B］	高橋京子	2010年－2011年	継続
富山大学和漢医薬学総合研究所・共同利用・共同研究［一般研究Ⅰ］	高橋京子	2010年－2011年	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
サイエンスカフェ@待兼山 No.50：「母乳育児とセルフメディケーションータンポポコーヒーの活用ー」：東由子	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2010年8月7日
サイエンスカフェ@待兼山 No.61：「漢方ってなあにー漢方・入門の入門ー」：島田佳代子	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011年2月12日
サイエンスカフェ@待兼山 No.65：「里山の植物文化」：道下雄大	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011年3月26日

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本薬理学会	学術評議員		継続

職名・氏名　教授・江口太郎

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・全学部・1年	共通教育基礎教育科目・大阪大学の歴史
前期・文系学部・1年	共通教育基礎教育科目・化学の考え方
後期・理学部・1年	共通教育専門基礎教育科目・基礎化学2
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学（共担）
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学セミナーI　（共担）
後期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学セミナーI　（共担）
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学セミナーII（共担）
後期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学セミナーII（共担）
通年・理学研究科・博士後期課程	核磁気共鳴分光学特別セミナー

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
2名	0名	2名

学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査・副査の別
鈴木晴 “Orientational Ordering of Partially Deuterated Methyl Groups in Molecular Solids”	副査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
科学技術論	兵庫県立大学理学部	2010年8月24日－25日
大学博物館と教育・研究	放送大学	2010年11月13日・20日

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
^{2}H NMR study of 2D melting and dynamic behavior of $CDCl_3$ confined in ACF nanospace	Takahiro Ueda, Hiroaki Omichi, Yu Chen, Hirokazu Kobayashi, Osamu Kubota, Keisuke Miyakubo, and Taro Eguchi	*Phys. Chem. Chem. Phys.*	**12** (32) 9222-9229	2010 年 10 月
Two-dimensional melting and phase change of binary mixtures of CCl_4 and $CHCl_3$ confined in ACF nanospace studied using solid-state ^{1}H NMR	Takahiro Ueda, Hiroaki Omichi, Yu Chen, Hirokazu Kobayashi, Osamu Kubota, Keisuke Miyakubo, and Taro Eguchi	*Bull. Chem. Soc. Jpn.*,	**83**(11), 1323-1332	2010 年 11 月

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
巨大絶滅動物マチカネワニ化石—恐竜時代を生き延びた日本のワニたち	江口太郎・小林快次	大阪大学出版会	pp. 1-95	2010 年

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
化学教育と博物館に携わって：日本化学会化学教育賞を受賞して	化学史研究、第 37 巻、第 4 号、196-198	2010 年
博物館リニューアル・オープンから 5 万人目の入館者	生産と技術、第 62 巻 4 号, 7-10	2010 年
サイエンスカフェのなやみ	近畿化学工業界、8 月号, 12-14	2010 年

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
大阪大学技術職員研修	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	2010 年 8 月 24 日	
大阪府公民館職員交流研修会	豊中市立千里公民館	2011 年 2 月 24 日	

講演タイトル	場所	年月日	備考
新しい豊中の文化芸術の創造に向けて	豊中市立市民会館	2011 年 3 月 25 日	豊中市文化芸術フォーラム

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
Growth Processes of Copper Phthalocyanine Films on HOPG Studied with Two-Photon Photoemission Microspectroscopy	第 26 回化学反応討論会	2010 年 6 月 2 日－4 日	連名
The lateral inhomogeneity of unoccupied states for PbPc and CuPc films	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
Resonance Effects on Two-Photon Photoemission of Lead Phthalocyanine Thin Films on Graphite	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
Correlation Between Geometric and Electronic Structures of Naphthalene on Cu(111)	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
銅フタロシアニンの膜成長と非占有準位の空間・エネルギー分布	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
HOPG 表面におけるナフタレン分子の吸着構造と電子状態	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
一次元ナノチャンネルに吸着された水分子の水素結合ネットワーク形成とプロトンダイナミクス	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
分子動力学法による多孔性高分子亜鉛錯体に吸蔵されたベンゼンの動的挙動に関する研究	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
Molecular dynamics simulations on the phase transitions and molecular motions of benzene molecules confined in IRMOF-1	International Conference on Nanoscopic Colloid and Surface Science (NCSS 2010), Chiba, Japan	19 - 22 October 2010	連名

タイトル	場所	年月日	備考
Correlation Between Adsorbed Structures and Image Potential States of Naphthalene Overlayers on HOPG	The 6th International Workshop on Nano-scale Spectroscopy and Nanotechnology, Japan	25 - 29 October 2010	連名
Molecular dynamics simulations on the phase transitions and molecular motions of benzene molecules confined in IRMOF-1	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM2010) Hawaii, USA	15-20 December 2010	連名

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
サイエンスカフェ＠待兼山 No. 48：「マチカネワニを探求すると？」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2010 年 7 月 24 日

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
博物館運営委員			継続
部局長会議メンバー			継続
豊中地区部局長会議メンバー			継続
創立 80 周年記念事業委員会委員			継続
大学教育実践センター運営協議会委員			継続
埋蔵文化財調査委員会委員	2009 年 4 月 1 日	2011 年 3 月 31 日	—
産官学連携問題委員会委員			継続
図書館委員会委員	2009 年 4 月 21 日	2011 年 3 月 31 日	—
懐徳堂記念会　学術専門委員	2009 年 4 月 1 日	2011 年 3 月 31 日	—
発明委員会委員			継続
教育研究評議会オブザーバー			継続
大学博物館等協議会メンバー			継続
適塾記念会　幹事・評議員			継続
文書館設置 WG メンバー			継続
大阪大学と大阪市の連携協議会メンバー			継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
近畿化学協会	理事		継続
近畿化学協会化学技術賞審査委員会	委員	2009 年 9 月 1 日 －2011 年 8 月 31 日	—
社団法人日本化学会　化学教育協議会 普及・交流委員会 化学だいすきクラブ小委員会	委員	2010 年 4 月 1 日 －2011 年 2 月 28 日	—
新興出版社啓林館 中学校理科教科書編集委員会	委員	2010 年 4 月 1 日 －2011 年 3 月 31 日	—
大阪大学生活協同組合	総代		継続
洪庵全集コア委員会	委員		継続
豊中市文化芸術振興審議会	委員	2010 年 7 月 1 日 －2012 年 6 月 30 日	—
兵庫県立大学	非常勤講師	2010 年 4 月 1 日 －9 月 30 日	—
とよなかサイエンスネット実行委員会	委員長	2010 年 5 月 14 日 －2011 年 3 月 31 日	—
日本核磁気共鳴学会	評議員	2009 年 4 月 1 日 －2011 年 3 月 31 日	—
放送大学大阪学習センター	非常勤講師	2010 年 10 月 1 日 －2011 年 3 月 31 日	—

職名・氏名　准教授・豊田二郎

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・実践センター・1 年	化学概論
前期・実践センター・2 年	自然科学実験 2 化学
前期・実践センター・2 年	化学実験
前期・実践センター・1 年	実践的博物科学
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学(I)
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学半期セミナーI
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学半期セミナーII
後期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学半期セミナーI
後期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学半期セミナーII

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
たのしい化学実験教室	大阪府立東住吉高校	ヒガスミ・カルチャー・NPO	2010 年 11 月 27 日
サイエンスカフェ@待兼山 No.62：「ホタルの光のひみつ」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 2 月 26 日

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
部局ネットワーク運用管理責任者	2002 年 4 月		継続
大学教育実践センター兼任教員	2008 年 3 月		継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本化学会　ホームページ管理委員会	委員長	1996 年 4 月－	継続
ヒガスミ・カルチャー・NPO	委員	2004 年 12 月－	継続

職名・氏名　准教授・宮久保圭祐

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・基礎工学部化学応用化学科・2 年 歯学部歯学科・2 年	共通教育専門基礎教育科目・化学実験
前期・工学部応用理工学科・1 年	共通教育専門基礎教育科目・化学実験
前期・理学部・ 1 年	情報活用基礎
前期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学（共担）

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
Novel Growth of Naphthalene Overlayer on Cu(111) Studied by STM, LEED, and 2PPE	T.Yamada, M. Shibuta, Y. Ami, Y. Takano, A. Nonaka, K. Miyakubo, T. Munakata	*J Phys. Chem. C,*	114(31), 13334-13339	2010 年 8 月
Two-Dimensional Melting and Phase Change of Binary Mixtures of CCl_4 and $CHCl_3$ Confined in ACF Nanospace Studied Using Solid-State ^{1}H NMR	T. Ueda, H. Omichi, Y. Chen, H. Kobayashi, O. Kubota, K. Miyakubo, T. Eguchi	*Bull. Chem. Soc. Japan*	83(11), 1323-1332	2010 年 11 月
^{2}H NMR study of 2D melting and dynamic behaviour of $CDCl_3$ confined in ACF nanospace	I T. Ueda, H. Omichi, Y. Chen, H. Kobayashi, O. Kubota, K. Miyakubo, T. Eguchi	*Phys. Chem. Chem. Phys.*	12, 9222-9229	2010 年 12 月
Lateral inhomogeneity of unoccupied states for PbPc films	R. Yamamoto, I. Yamamoto, M. Mikamori, T. Yamada, K. Miyakubo, T. Munakata	*Surf. Sci.*	605(9-10), 982-986	2011 年 3 月

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
Growth Processes of Copper Phthalocyanine Films on HOPG Studied with Two-Photon Photoemission Microspectroscopy	第 26 回化学反応討論会	2010 年 6 月 2 日－4 日	連名
The lateral inhomogeneity of unoccupied states for PbPc and CuPc films	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
Resonance Effects on Two-Photon Photoemission of Lead Phthalocyanine Thin Films on Graphite	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
Correlation Between Geometric and Electronic Structures of Naphthalene on Cu(111)	7-th International Symposium on Ultrafast Surface Dynamics (USD7) Brijuni Islands, Croatia	22 - 26 August 2010	連名
銅フタロシアニンの膜成長と非占有準位の空間・エネルギー分布	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
HOPG 表面におけるナフタレン分子の吸着構造と電子状態	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
一次元ナノチャンネルに吸着された水分子の水素結合ネットワーク形成とプロトンダイナミクス	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
分子動力学法による多孔性高分子亜鉛錯体に吸蔵されたベンゼンの動的挙動に関する研究	第 4 回分子科学討論会，大阪	2010 年 9 月 14 日－17 日	連名
Molecular dynamics simulations on the phase transitions and molecular motions of benzene molecules confined in IRMOF-1	International Conference on Nanoscopic Colloid and Surface Science (NCSS 2010), Chiba, Japan	19 - 22 October 2010	連名
Correlation Between Adsorbed Structures and Image Potential States of Naphthalene Overlayers on HOPG	The 6th International Workshop on Nano-scale Spectroscopy and Nanotechnology, , Japan	25 - 29 October 2010	連名

タイトル	場所	年月日	備考
Molecular dynamics simulations on the phase transitions and molecular motions of benzene molecules confined in IRMOF-1	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM2010) Hawaii, USA	15-20 December 2010	連名

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金　基盤研究（B） 配位高分子錯体においてゲスト分子集団が示す協同現象の解明と機能性材料への展開	上田貴洋	平成 21 年度－23 年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
夏の小学生科学体験教室 「冷やせ！－195℃の不思議な世界」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2010 年 8月26日
サイエンスカフェ＠待兼山 No. 56： 「分子の動きを追いかける」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 1月8日
移動科学実験教室	大学教育実践センター実験棟Ⅰ	豊中市教育センター	2011 年 3月5日

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
総合学術博物館湯川記念室委員会	2010 年 4 月		新規

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
とよなかサイエンスネット実行委員会	委員		新規

職名・氏名　教授・橋爪節也

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・学部、博士課程前期	日本美術史演習
前期・博士課程後期	日本美術史特殊演習
後期・学部、博士課程前期	日本美術史演習
後期・博士課程後期	日本美術史特殊演習
後期・学部、博士課程前期	日本美術史講義
後期・博士課程後期	日本美術史特殊講義
通年・学部、博士課程前期、博士課程後期	日本美術史演習
前期・学部	実践的博物科学
後期・学部	東洋美術史
大阪大学超短期プログラム　留学生	「日本のアートの冒険 2010」

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
22 名	0 名	3 名（日本東洋美術史）

学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査・副査の別
[博士論文] 三田覚之「飛鳥時代における仏教荘厳美術の研究—天寿国繍帳と金銅灌頂幡を中心として—」	副査
[修士論文] 露峰亜希「長澤盧雪の大画面制作－南紀障壁画を中心に－」	主査
[修士論文] 藤本真名美「水越松南の画風確立期の問題－1910 年代から 1920 年代の関西画壇の中で」	主査
[修士論文] 野田弥生「アメリカにおけるブランクーシ受容」	副査
・その他　卒業論文　9 点	3 点主査、6 点副査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
日本東洋美術史	愛知県立芸術大学	

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
「近代大坂の南画家　森琴石－その生涯と作品－」	橋爪節也	熊田司・橋爪節也共編『森琴石作品集』東方出版	169-182 頁	2010 年 12 月 18 日

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
『大阪の橋ものがたり』	伊藤純、 橋爪節也、 船越幹央、 八木滋 著	創元社	全 198 頁	2010 年 4 月 20 日
『森琴石作品集』	熊田司 橋爪節也 共編	東方出版	全 252 頁	2010 年 12 月 18 日

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
「大阪国新都市論　“オオサカ諸島にて（Osaka islands にて）”」	『大阪がもし日本から独立したら』大阪国独立を考える会編　マガジンハウス	2010 年 4 月 22 日
書評「森村泰昌『露地庵先生のアンポン譚』　市井の人たることを願う」）	産経新聞	2010 年 6 月 27 日
「わんすあぽんなたいむ・いん・おおさか 田辺聖子と華やかなりしモダン大阪をめぐる断想」	『ユリイカ』2010 年 7 月号、特集･田辺聖子、青土社	2010 年 7 月 1 日
「1970 年—よみがえった極私的な記憶—」	『視覚の現場・四季の綻び』第 6 号、 醍醐書房	2010 年 8 月 31 日

タイトル等	報道機関名	報道年月
「大新版 大坂町中珍説阿法陀羅経」（明治 3 年）13-15 頁、「普佛戰爭略記 パノラマ セダンノ戦」（明治 23 年）28-30 頁、「不思議の女賊 洋妾お俊」（明治 40 年）43-45 頁、「美術雑誌パラシュート」（大正 13 年）112-114 頁、「大阪叢書」（昭和 2 年）127-129 頁、「大大阪」（昭和 2 年）130-132 頁、「古本屋」（昭和 4 年）142-144 頁、「詩集 蒼ざめた星座」（昭和 4 年）148-150 頁、「大大阪橋梁選集」（昭和 4 年）151-153 頁、「プレイガイド」（昭和 7 年）160-162 頁、「旗艦」（昭和 10 年）196-198 頁、「粹」（昭和 11 年）202-204 頁、「天王寺の蛸々眼鏡 子寿里庫叢書第壱編」（昭和 12 年）208-210 頁、「大阪 南地の嵐」（昭和 12 年）211-213 頁、「喫茶人 秋季號」（昭和 12 年）214-216 頁、「ショップガイド」（昭和 13 年）217-219 頁、「旬刊 大阪」（昭和 23 年）250-253 頁、「THE HOST」（昭和 29 年）283-285 頁	林哲夫編『書影でたどる関西の出版 100　明治・大正・昭和の珍本稀書』創元社	2010 年 10 月 10 日発行
「画人蒹葭堂を鑑賞するための三つのキーワード」	「蒹葭堂だより」木村蒹葭堂顕彰会発行、1－4 頁	2010 年 11 月 28 日
「市立近代美術館は準備室の呪縛から解放されるか ―フォーラム「私たちの近代美術館をつくるために」」	『視覚の現場・四季の綻び』第 7 号 、醐書房	2010 年 11 月 30 日
「“盛り場をむかしにもどすはしひとつ”－句碑をたどる“南地”ツァーへの誘い」	「大阪保険医雑誌」№530　特集　町 p29-31　大阪府保険医協会	2011 年 1 月
小出楢重を読む 1 ～ 3 「下手もの漫談」「上方近代雑景」「勇ましき構成美」18－35 頁	「大阪春秋」平成 23 年新春号　№141、特集 没後 80 年小出楢重	2011 年 1 月 20 日発行
「小出の描いたモダン都市－《街景》大正十四年九月－」36－39 頁	「大阪春秋」平成 23 年新春号　№141、特集 没後 80 年小出楢重	2011 年 1 月 20 日発行
「食満南北を思う　その三　南北の著作と大阪・南地」	「やそしま」第四号、上方文化芸能協会	2011 年 2 月 1 日発行
舞台はここに　森琴石「高麗橋之図」（インタビュー記事）	産経新聞夕刊	2011 年 2 月 19 日発行
「Dialogue 01 森村泰昌×橋爪節也」（対談）111-123 頁。並びに「森村泰昌の心斎橋空想美術館」8-35 頁制作に協力	『OSAKA ART TOURISM BOOK 大阪観考』大阪旋風プロジェクト（事務局：大阪市・財団法人大阪観光コンベンション協会）発行、株式会社京阪神エルマガジン社発売	2011 年 3 月 25 日

タイトル等	報道機関名	報道年月
住むまち大阪　Osaka Style scene37 暮らしと文化のショーウインドゥ　百貨店が届けた豊かな暮らし（インタビュー記事）	「あんじゅ」vol.46 2011 年春号、大阪市住まい公社編、大阪市都市整備局発行	2011 年 3 月 31 日発行
おおさか KEY わーど 第 1 回「花の都？花、花、花でチントンシャン…（浪華百景「さくらの宮景」）」4 月号、表紙・3 頁。	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 4 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 2 回「再出現！大阪万博 40 年　大阪が沸騰した記憶（前田藤四郎「長崎堂カステラ包装紙（EXPO70）大阪万博」）」5 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 5 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 3 回「えがかれた適塾　大阪の偉人のドラマをもっとえがいてくれないか」6 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 6 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 4 回「大阪名物 造り物 “造り物”は夏祭りの季節（「四季造物趣向種」）」7 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 7 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 5 回「涼しさや…夕涼みは大川でぷかぷかと（木谷千種「浄瑠璃船」）」8 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 8 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 6 回「活気あふれるなにわことば“いちびる”市場のにぎわいが“市振る（いちぶる）”のみなもと（滑稽浪華名所「ざこば魚市」）」9 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 9 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 7 回「 筋”と“通り”　ひらあ、 かわらに、びんごあづち（「新撰増補大坂大絵図」）」10 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 10 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 8 回「「とめの祭り」の月がきた　　晩秋の風情を求めて神農さんへ（道修町･神農祭）」11 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 11 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 9 回「今年のまずは第一歩　～新春 錦絵双六～（「衣装競似顔双六」）」12 月 1 月合併号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2010 年 12 月 10 日発行
おおさか KEY わーど第 10 回「アインシュタイン！？アートで 20 世紀を回顧するアーチスト 森村泰昌」2 月号、表紙・3 頁	OSAKA 生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2011 年 2 月 10 日発行

タイトル等	報道機関名	報道年月
おおさかKEYわーど第11回「“子の千三百六十五番…”を知ってますか - いまも生きる“落語スピリッツ” -（成瀬國晴絵馬）」3月号、表紙・3頁	OSAKA生涯学習情報誌「いちょう並木」連載（大阪市立総合生涯学習センター編）	2011年 3月10日発行

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
フォーラム「宇崎純一と大阪ミナミ」パネルディスカッション	大阪市立中央図書館5階大会議室	2010年 5月5日	大阪市立図書館・宇崎純一展開催実行委員会主催
社団法人近畿化学協会第32期研修塾第3回講座「映像はいかにモダン都市を表現したか？―昭和12年の映画「大大阪観光」の場合―」	大阪科学技術センター	2010年 8月7日	社団法人近畿化学協会主催
「『浪花百景』を読み解く」 平成22年度大学等連携事業公開講座「大阪市の生涯学習と開かれる大学・大学院」展関連事業	キャンパスポート大阪	2010年 10日18日	主催：大阪市教育委員会／大阪市教育振興公社／大学コンソーシアム大阪／関西社会人大学院連合
「大阪大学 21 世紀懐徳堂シンポジウムー街育て vol.3 大阪万博40周年の検証」	毎日新聞大阪本社オーバルホール	2010年 12月12日	主催：大阪大学 21 世紀懐徳堂

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
美術史学会美術館博物館委員会東西合同シンポジウム「"伝説"を創る現場―展覧会の可能性を求めて―」担当常任委員として企画・司会進行、美術史学会主催	大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール	2010年 5月1日	
明治美術学会シンポジウム「関西の近代美術を調べるということ」「関西の近代美術事情」の「大阪」担当	京都国立近代美術館	2010年 7月24日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
文化遺産としての大衆的イメージー近代日本における視覚文化の美学美術史学的研究ー	金田千秋		新規（追加分担者）

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
第 26 回歴史ミュージアム「中之島から“大大阪”探訪」	花外楼	花外楼	2010 年 4 月 24 日
講演「描かれた天神祭」	大阪天満宮		2010 年 5 月 9 日
講演「『大大阪観光』の世界」	中崎町・天人	水都の会	2010 年 5 月 12 日
講演「大阪画壇とその潮流」「なにわなんでも大阪検定」特別講座「もっと大阪の魅力を知ろう」	大阪商工会議所	大阪商工会議所	2010 年 6 月 13 日
芦屋市立美術博物館・連続講演会「コレクションするということ」第 2 回「＜紙もの＞コレクションって何？」	芦屋市立美術博物館	芦屋市立美術博物館	2010 年 7 月 10 日
サイエンスカフェ＠待兼山 No.55： 「幕末大坂の浮世絵「浪花百景」－なにがえがかれているか、みんなで探ろう－」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2010 年 9 月 25 日
「輝けるモダン都市・大大阪とその文化的土壌」日本 ERI 大阪支店開設十周年記念講演会	大阪市中央公会堂小集会室	日本 ERI	2010 年 10 月 18 日
市民歴史講座「大阪画壇から京都画壇へ―田能村直入と文人画」	市立枚方宿鍵屋資料館	市立枚方宿鍵屋資料館	2010 年 11 月 3 日
大阪大学中之島講座「ミュージアムが都市の輝きを増す－大阪圏と美術館再考－」	大阪大学中之島センター	大阪大学 21 世紀懐徳堂	2010 年 11 月 26 日
高津ルネッサンス【弐】「高津宮と文楽」	高津宮	高津まちづくり推進協議会	2010 年 12 月 23 日
阪大生によるギャラリートーク「小出楢重を斜め歩く」を指導。「没後 80 年記念　小出楢重を歩く－1920 年代　大阪・神戸・芦屋－」芦屋市立美術博物館	芦屋市立美術博物館	芦屋市立美術博物館。大阪大学総合学術博物館連携事業	2011 年 1 月 8 日 ・2 月 5 日
井上稔展特別ギャラリーレクチャー「近代大阪の変貌－新発見の井上稔作品《肥後橋》《街の風景》によせて」	奈良県立万葉文化館	奈良県立万葉文化館	2011 年 2 月 20 日
「大阪画壇と印刷－美術史を組み立てるのは誰か－」	凸版印刷関西事業本部	印刷文化研究会	2011 年 2 月 25 日
講演会「大阪画壇とアール・ヌーヴォー？　北野恒富と島成園の周辺」	堺市立文化館	堺市立文化館	2011 年 3 月 5 日

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名
附属図書館総合図書館運営委員会委員
広報社学連携室員
多様な人材活用推進委員会委員
評価委員会委員
大阪大学中之島講座運営委員
大阪大学 21 世紀懐徳堂企画会議委員
総合学術博物館湯川記念室委員会委員
創立 80 周年記念事業委員会　社学連携イベント実行委員会

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
美術史学会西支部常任委員会	西支部常任委員	2009 年－2011 年	—
美術史学会美術館博物館委員会	美術館博物館委員	2009 年－2011 年	—

職名・氏名　准教授※・廣川和花

※平成 22 年度時点では助教

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・全学・1 年	平和の問題を考える
後期・全学・1 年	平和研究入門
前期・全学・1 年	博物館体験コース

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
3 名	0 名	21 名

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
歴史の中の現代	甲南大学	2010 年 9 月－2011 年 2 月

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
近代大阪のペスト流行にみる衛生行政の展開と医療・衛生環境	廣川和花	歴史評論	726 号、19－31 頁	2010 年 9 月

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
近代日本のハンセン病問題と地域社会	廣川和花	大阪大学出版会	全 332 頁	2011 年 2 月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
村田路人・橋本孝成・廣川和花「＜適塾特別展示＞えがかれた適塾」	『適塾』43 号、5－20 頁	2010 年 12 月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
モダン都市大阪の衛生・疾病・環境	立命館大阪オフィス	2010 年 7 月 5 日	立命館大阪プロムナードセミナー大阪・京都文化講座『京と大坂－歴史・文化・学問をたどる－』

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
近代日本のハンセン病問題と地域社会	大阪市立大学文化交流センター	2010 年 8 月 23 日	医療・社会・環境研究会
高岡裕之氏の「福祉」史研究へのコメント	国立歴史民俗博物館	2010 年 9 月 4 日	近現代史サマーセミナー（日本史研究会・大阪歴史学会・大阪歴史科学協議会）
波江彰彦・廣川和花「近代大阪における第一次ペスト流行」	奈良教育大学	2010 年 11 月 21 日	人文地理学会大会

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
三菱財団人文科学研究助成金「近代大阪の都市衛生環境に関する総合的研究」	廣川和花	2009 年－ 2010 年	継続
科学研究費補助金（若手（B））「疾病史アーカイブズ論の創成：疾病史史料のアーカイビングと公開のための萌芽的研究」	廣川和花	2010 年－ 2012 年	新規
科学研究費補助金（研究成果公開促進費、学術図書)「近代日本のハンセン病問題と地域社会」	廣川和花	2010 年	新規
科学研究費補助金（基盤研究（A））「近現代の日本における医療の構造変化と歴史の重層」	鈴木晃仁	2010 年－ 2012 年	新規
科学研究費補助金（基盤研究（B））「薬用資源の文化財分析法を用いた新規標準化インデックスの探索」	高橋京子	2010 年－ 2012 年	新規

【社会貢献、管理運営等】

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
文学研究科デジタルアーカイブ委員会委員	2010 年 6 月		継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
大阪歴史博物館資料評価委員		2009 年 3 月－	継続

職名・氏名　助教・松永和浩

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
前期・全学部・1年	基礎セミナー「博物館体験コース」
前期・文学部・2、3、4年	博物館学（学内実習）

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
人間と文化C（国際交流史Ⅰ）	帝塚山大学経済学部	2010年4－8月
人間と文化D（国際交流史Ⅱ）	帝塚山大学経済学部	2010年9月－2011年2月

【研究活動】

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
伊賀市史　第1巻 通史編（古代・中世）	伊賀市編 （分担執筆）	伊賀市	pp587-607	2011年 3月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
新刊紹介　永松圭子著 『日本中世付加税の研究』	『史学雑誌』119編11号、pp100-101	2010年11月
史料探訪43 「光明皇后発願　出陽経　巻第四」	『鴨東通信』80（思文閣出版）、pp14-16	2011年1月

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
室町殿権力の確立をめぐって	大阪大学	2011年 3月19日	大阪大学歴史教育研究会

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
研究活動スタート支援「中世後期公家社会の構造的特質と室町殿の「公家化」に関する基礎的研究	松永和浩	2010年－2012年	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
サイエンスカフェ＠待兼山 No. 49：「塗り替えられる歴史像－室町幕府の場合－」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2010年8月4日
夏の小学生科学体験教室「戦国大名を系図からみてみよう」	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館、とよなかサイエンスネット実行委員会	2010年8月18日

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

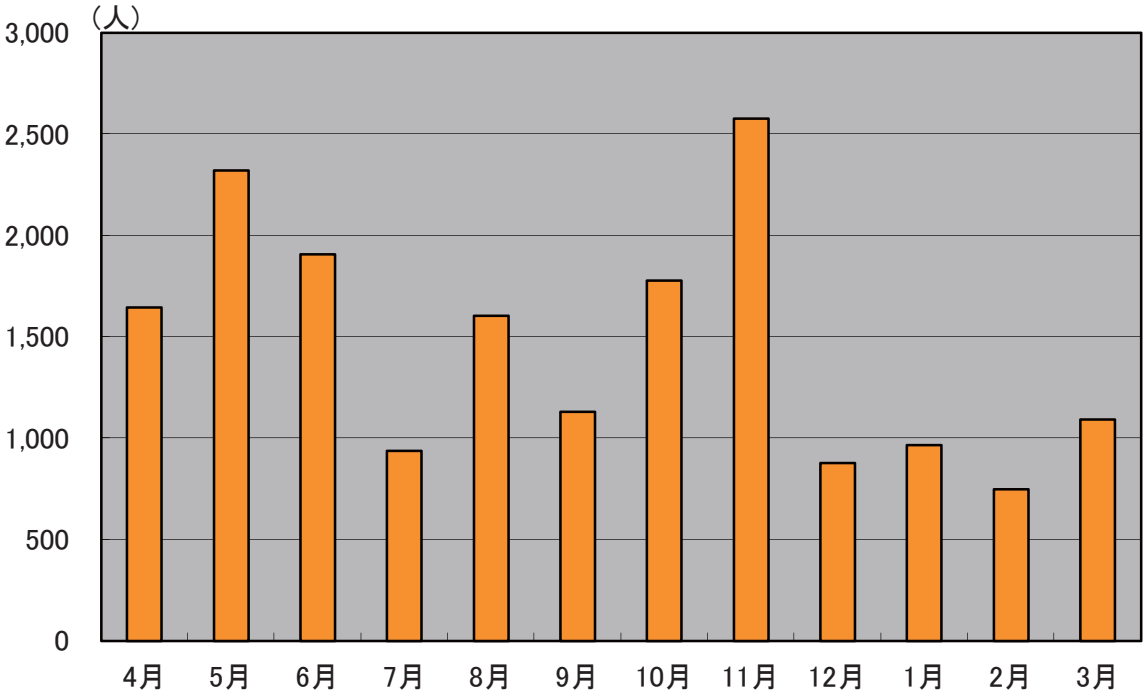
委員会名	役職	期間	継続/新規
伊賀市史編さん委員会	執筆委員	2008年10月－2011年3月	—
日本史研究会	研究委員	2008年10月－2010年10月	—
史敏刊行会	編集長	2009年6月－2010年10月	—
大阪歴史科学協議会	編集委員長	2010年6月－	—
歴史科学協議会	全国委員	2010年6月－	—

3.6　常設展示来館者数及びアンケート集計結果

3.6.1　常設展示来館者数

（単位：人）

	来館者数
4月	1,645
5月	2,322
6月	1,909
7月	939
8月	1,606
9月	1,131
10月	1,778
11月	2,578
12月	877
1月	967
2月	750
3月	1,092
計	17,594

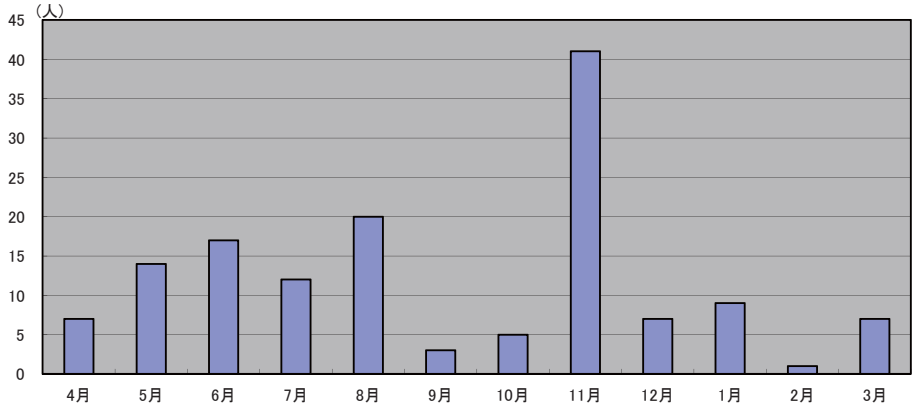


3.6.2 アンケート集計結果

■アンケート回答総数

（単位：人）

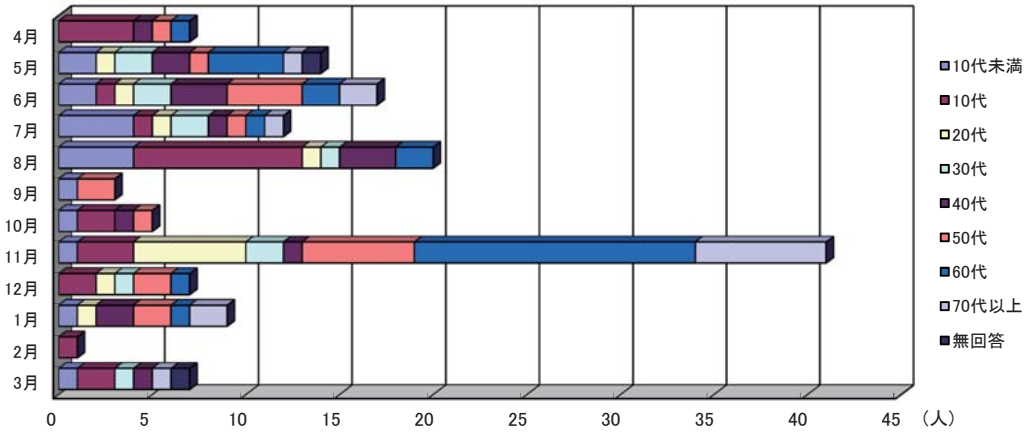
	回答数
4月	7
5月	14
6月	17
7月	12
8月	20
9月	3
10月	5
11月	41
12月	7
1月	9
2月	1
3月	7
合計	143



■年齢分布表

（単位：人）

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
4月	0	4	0	0	1	1	1	0	0
5月	2	0	1	2	2	1	4	1	1
6月	2	1	1	2	3	4	2	2	0
7月	4	1	1	2	1	1	1	1	0
8月	4	9	1	1	3	0	2	0	0
9月	1	0	0	0	0	2	0	0	0
10月	1	2	0	0	1	1	0	0	0
11月	1	3	6	2	1	6	15	7	0
12月	0	2	1	1	0	2	1	0	0
1月	1	0	1	0	2	2	1	2	0
2月	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	2	0	1	1	0	0	1	1
合計	17	25	12	11	15	20	27	14	2

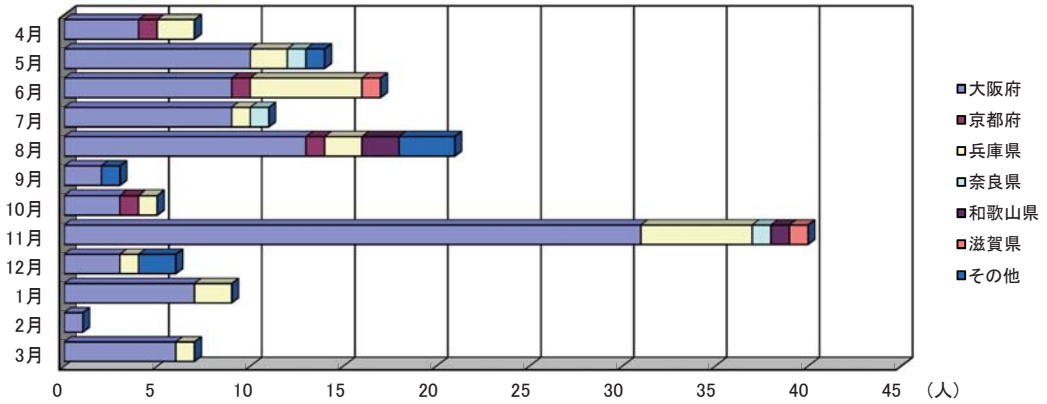


■来館者住所分布

（単位：人）

	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他	無回答
4月	4	1	2	0	0	0	0	0
5月	10	0	2	1	0	0	1	1
6月	9	1	6	0	0	1	0	0
7月	9	0	1	1	0	0	0	1
8月	13	1	2	0	2	0	3	0
9月	2	0	0	0	0	0	1	0
10月	3	1	1	0	0	0	0	0
11月	31	0	6	1	1	1	0	1
12月	3	0	1	0	0	0	2	1
1月	7	0	2	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0	0	0	0
3月	6	0	1	0	0	0	0	0
合計	98	4	24	3	3	2	7	4

（重複回答2）



●その他内訳

5月
・埼玉県より帰省中

8月
・静岡県
・福島県
・千葉県

10月
・山梨県

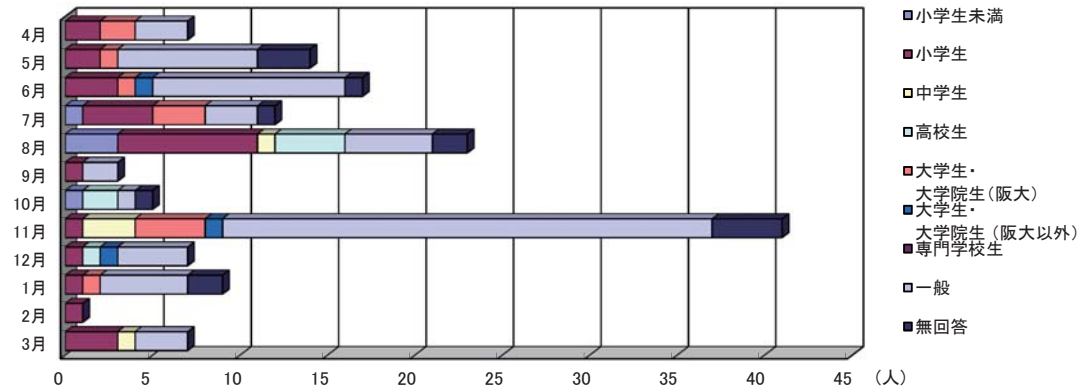
12月
・日本国島根県

■来館者学年分布

（単位：人）

	小学生未満	小学生	中学生	高校生	大学生・大学院生（阪大）	大学生・大学院生（阪大以外）	専門学校生	一般	無回答
4月	0	2	0	0	2	0	0	3	0
5月	0	2	0	0	1	0	0	8	3
6月	0	3	0	0	1	1	0	11	1
7月	1	4	0	0	3	0	0	3	1
8月	3	8	1	4	0	0	0	5	2
9月	0	1	0	0	0	0	0	2	0
10月	1	0	0	2	0	0	0	1	1
11月	0	1	3	0	4	1	0	28	4
12月	0	1	0	1	0	1	0	4	0
1月	0	1	0	0	1	0	0	5	2
2月	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	3	1	0	0	0	0	3	0
合計	5	27	5	7	12	3	0	73	14

（重複回答3）



●一般内訳

4月
・社会人
・会社員

6月
・大学職員

8月
・会社員
・子供と3人で。

12月
・阪大スタッフ

5月
・薬品系会社員
・兄が阪大卒業生

7月
・教員

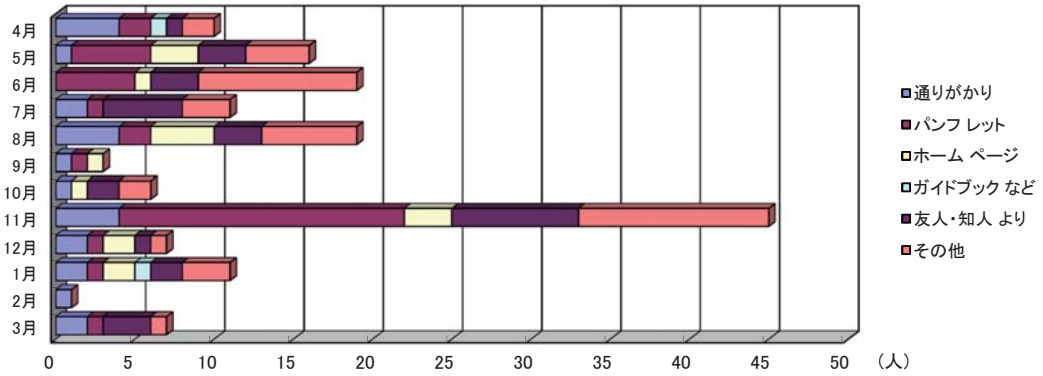
11月
・主婦(3件)

2月
・新中1です。

Q 1　どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数回答可）

（単位：人）

	通りがかり	パンフレット	ホームページ	ガイドブックなど	友人・知人より	その他
4月	4	2	0	1	1	2
5月	1	5	3	0	3	4
6月	0	5	1	0	3	10
7月	2	1	0	0	5	3
8月	4	2	4	0	3	6
9月	1	1	1	0	0	0
10月	1	0	1	0	2	2
11月	4	18	3	0	8	12
12月	2	1	2	0	1	1
1月	2	1	2	1	2	3
2月	1	0	0	0	0	0
3月	2	1	0	0	3	1
合計	24	37	17	2	31	44



●その他内訳

4月
・チラシ
・ダイレクトメール

5月
・おやより
・ポスター
・阪大で

6月
・ちらし
・新聞（朝日）（2件）
・おじいちゃんにおしえてもらった
・新聞でえがかれた適塾の紹介をみた
・適塾のチラシ
・テレビ　NHK
・お母さん

7月
・研究室ゼミ
・あさひカルチャーセンター

8月
・学校の紹介
・家族
・娘が阪大生
・大学に来た時
・市のこうほう〔とよなか〕
・近所なので

10月
・以前、消防試験のさい
・校外学習

11月
・老大同窓会行事
・集団
・キャンパスほうもん
・学校行事
・入学後の説明
・ポスター
・大阪市立科学館にて
・イ号館で展示していたころから。

12月
・仕事

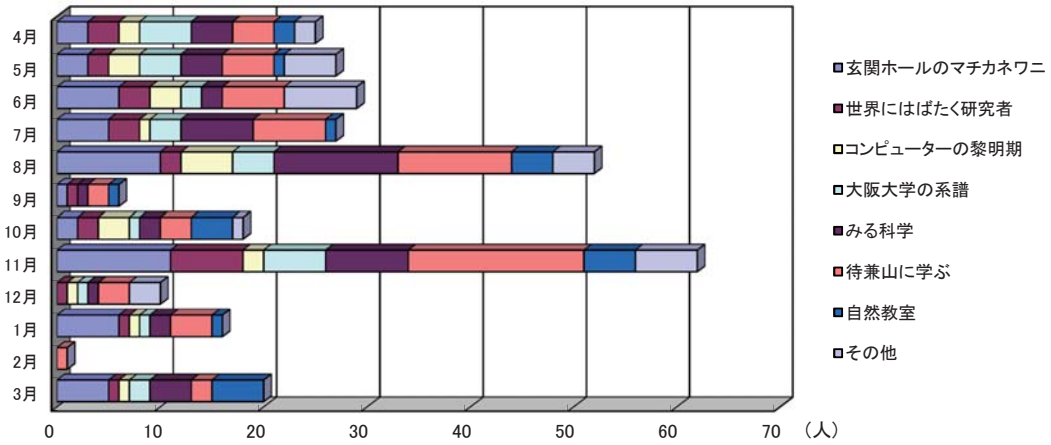
1月
・豊中市　地域誌
・授業

3月
・おじいちゃんとおばあちゃんから

Ｑ２　どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数回答可）

（単位：人）

	1　階			2　階		3　階	R　階	その他
	玄関ホールのマチカネワニ	世界にはばたく研究者	コンピューターの黎明期	大阪大学の系譜	みる科学	待兼山に学ぶ	自然教室	
4月	3	3	2	5	4	4	2	2
5月	3	2	3	4	4	5	1	5
6月	6	3	3	2	2	6	0	7
7月	5	3	1	3	7	7	1	0
8月	10	2	5	4	12	11	4	4
9月	1	1	0	0	1	2	1	0
10月	2	2	3	1	2	3	4	1
11月	11	7	2	6	8	17	5	6
12月	0	1	1	1	1	3	0	3
1月	6	1	1	1	2	4	1	0
2月	0	0	0	0	0	1	0	0
3月	5	1	1	2	4	2	5	0
合計	52	26	22	29	47	65	24	28



●その他内訳

4月
・おがたこうあん
・適塾

5月
・えがかれた適塾(3件)
・適塾（2件）

6月
・特別展
・洪庵
・えがかれた適塾（4件）

8月
・別にぜんぜんおもしろくなかった
・屋上デッキ
・景色

11月
・（待兼山に学ぶ）ワニについて
・ほねがさわれてよかった。
・線の表現力（3件）
・まだ全て行ってない
・このようなワークショップをもっとしてほしい
・線の表現力　ワークショップ

12月
・線の表現力
・3Fでのセミナー
・能のスケッチ

Q3　来館は何回目ですか？

（単位：人）

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
4月	5	0	0	2	0
5月	5	1	3	5	0
6月	13	0	3	0	1
7月	6	3	1	2	0
8月	16	0	0	3	1
9月	2	0	0	1	0
10月	3	0	0	2	0
11月	26	3	4	7	1
12月	4	2	0	1	0
1月	3	4	1	1	0
2月	0	0	1	0	0
3月	5	2	0	0	0
合計	88	15	13	24	3

Q　当館の展示についてご意見やご要望をお聞かせください。

※ 記入のあったものの一部について誤字を改めた以外は、原文のままの収録とした。

● 4 月

- わにの化石をはじめて見て大きくてとてもびっくりした。
- ゆっくり楽しませてもらいました。有難うございます。また寄せてもらうかも知れませんがよろしく
- 展示物をみていましたら、手塚先生の世界がそのままでした。
- ありがとうございました。ここが入場りょうタダってすごいうれしいです
- けんびきょうで見るのが楽しかったです。

● 5 月

- ふしぎな物がたくさんあった。
- 緒方洪庵の業績の偉大さを適塾・懐徳堂と阪大のかかわりがよくわかりました。見学してたいへんよかったとよろこんでいます。
- 知人に教えてもらうまで、こちらの存在を知りませんでした。（二十年徒歩 5 分の距離に住んでいながら）もう少し早くに知っていればと思うと少し残念です。こちらができたのが最近なのかもしれませんが、もう少し PR されてもよいのではと少し思いました。
- くるたびに何か発見があります。
- 常設室も季節によって変化をつけることはできないですか。
- チラシの郵送を今後とりやめられるようですが仕方ありませんね。メールマガジンを発行して下さい
- 郵送いただいたパンフレットは参考になります。
- 講演会で、ビデオも撮っているのに、あんなに頻繁に写真はいらないでしょう。カメラ音がうるさいです。開始当初ぐらいならがまんできますが。
- じっくり見る時間がなかったので、又来たい。内容は充実してると思います。
- えがかれた適塾のちらしを見て、貴博物館の存在を知りました。適塾には興味があったのと手塚治のマンガも読んでいましたので、でもマチカネワニの化石がこの近くでみつかり、その化石の実物が展示されているのは知りませんでした。とてもうれしく拝見しました。兵庫県神戸の方ではあまり貴博物館のことを知るチャンスがありませんでした。ぜひチラシをあちこちに置いて下さい。マチカネワニの宣伝もして下さい。

● 6月

- 初めてですが人生観が変った　又ゆっくり來たい、すばらしい、日本人の先祖はえらい人がいっぱい居る。
- ぼくはここの大学に行きたいです。
- 石橋付近の学校に数年通学し、近くの市に住んでいるが、阪大にこの様な素晴しい博物館が、あるのを知らなかった。　以後色々な展示を期待しています。もっと、認知される様な広告（？）など駅等にしてください。特別展拝見させて頂きありがとうございました。
- 玄関ホールのマチカネワニがすごいです。
- この建物の紹介がみあたらなかったが、階段のあたりはなかなかいい。（トイレが美しく、気持良かった）もっと色々な美術展があれば、みにきてみたいと思いましたが、大阪大学関係でないと駄目でしょうね。
- 先日の朝日の記事で洪庵展知りました。もう1月会期わずか、もっと早く知りたかったです。マスコミでのPRこまめにして下さい　6/19海原　亮先生の講演ききたかったが他のスケジュール入れたのできけむ　残念です
- 5/29に橋本さんの「近世大坂の学問と適塾」のレクチャーを聞きました。とても興味深い話で楽しめました。再度展示を見たいと思い今日もう一度来ました。適塾をもっと世の中の人に（特に大阪の人に）知ってほしいです。
- 入口のワニでっかくてはりついてる（トカゲかなって思います）
- フリースペースなどで自由にジュースかあめがもらえて、休けいできる場所が欲しかった。
- あちこちで記念行事が用われ先日も京都迄　坂本龍馬伝を観に行ってきましたが、今日の適塾の手塚治虫氏の陽だまりの樹も涙が出そうになりましたが映画もきこえにくかったけれど、昔の人の向学心には涙が出ます。私も77才ですが、今年になってから子供の見守り隊　学校の花壇の手入れなど自分の今出来ることに頑張っています。今日はありがとうございました。

● 7月

- たのしかった（イラストつき）
- きょう年もきて今日も、きて、2回目です！古墳とマチカネワニが、すごいです！
- ワニについて掘り下げて下さい(ハートマーク)
- 蛋白質研究をしているラボのゼミとして来館しました。
- おもしろかった。いろいろわかった。
- なにかゲームがあればいいと思う。てんじ物がすごかった
- ゆったりして、見学できました。
- 展示内容が充実している。
- ①阪大の厂史がよく分った。②マチカネワニが大きいのでびっくりした。ワニの研究が続いていることに感激した。③多くのいろいろな研究者の業績に、感心しました。
- けんびきょうがおもしろかった

● 8月

- 子どもの学習のために来ましたが、無料でここまで勉強する事ができ、有りがたかったです。
- カフェの料理がおいしかった。バーチャル展示物がじゅうじつしていた。
- とても楽しめました　ワニの骨は圧巻でした　又、大学（豊中キャンパス）に沢山の古墳があることにも驚きでした
- ワニのグッズがかわいかったです。
- ワニの化石や、けんび鏡でいろいろ見れたのがたのしかった。また来たいと思います。サイエンスカフェに参加してみたい！！
- たのしくておべんきょうができました。またきます。ありがとうごだいます。
- 立派な博物館でした。カフェや shop もあって　楽しめました！
- ありがとうございました。省エネにも配慮されては？
- またきたい
- マチカネワニがすごいです。

● 9月

- なし
- 初めてきました。建物もとてもいいので気に入りました。カフェもあり、なかなかですね。もっと、みなさんに知ってもらうこと大切だと思います。また、特別展の時にまいります。受付の方も親切でした。ありがとう
- ワニはすごい

● １０月

- カフェの食事提供に時間がかかりすぎだと思います。人が少ない（お客さん）のにスタッフの人数は多いのに待たせすぎ、学食の早さを見習ってというか、学食で研修受けて来て欲しいです。
- 博物館の方は説明がわかりやすく、見やすかったです。虫の標本は、もっと多くの種類がいるのに（カブトムシ等）紹介されてなくて残念でした。てん示物に複製が多くて残念でした。学芸員の人というか質問に説明してくれる人がいたらもっと良かったのにと思いました。
- 今回は屋上の植物関係をパソコンで見ましたが、実際名前を知っていても実だけとか葉だけしか知らなかった事は実感しました。
- たのしい

● 11月

- 2回きても色いろべんきょうになった。わにをひさしぶりに見て大きかったしおねおさわれてよかった。
- 銀杏の木すごいですね
- 又、来たいと思う

第 12 回企画展「線の表現力ーアートの諸形態、須田国太郎《能・狂言デッサン》から広がって」で実施したワークショップ「描線を楽しもうー1 本の線で描くー」のアンケート（11/6（土））

- 楽しみに、やって参りました。線描表現力作品展も、good！！好機でした。期待通りの展です。今後もどうぞ、ご企画下さいませ。ありがとうございました。キャンパスも、十分に拝見しておりません。次回に是非と思っております。お世話、ご苦労様です。追　とっても楽しく発見もいっぱいでしたありがとうございました。
- 静かな環境で大変良い。
- チャンスがあれば来館したい！
- こちらのことを存じあげず、大阪科学館にて、パンフレットで知りました。当方は、年金生活になり、今までに、多少のスケッチなどを、楽しんでおりました。そこで今回のワークショップのことを知り、お伺いした次第です。もし、ワークショップ等の参加がなかったら、お伺いは、しなかったと思います。すごく、嬉しい日となりました！！
- 貴館の存在そのものを知らず、今回初めて大阪市立科学館にて、パンフレットを入手　もう少し PR を拡充して頂ければ、特に私は大阪南部　堺市に居住していますので北大阪地域の情報に接っする機会が少ないと思います。
- 石橋駅から近いのに判りにくい。
- 「待兼山に学ぶ」のコーナーのセンチコガネとオオセンチコガネの展示で、どちらがどちらか、不明。
- いつもいつもありがたく思っております。だんだんと美術系が多くなってきているようでマコトにありがたく。植物系もうれしくおもっています。
- こんな機会がもっとあればうれしい。
- ②サイエンスの部分・展示に興味持った。
- 楽しい企画をありがとうございます。
- 画用紙に絵を書くのは久しぶりでどうなることやら
- 魅力ある大変良い講座です是非再度の開講を機待いたします。
- 毎年実施してほしい。

● 12 月

- ワニの化石で、ワニが、どうなっているか、知れて、きょうみぶかかった。けんび鏡で、色んな物をみるのが、一番面しろかった。
- 待兼山の展示に、森の豊かさを感じました。遊歩道を歩いたり、山を並めるのがもっと深く味わえるような気がします。
- 「線の表現力」の展示、ワークショップ、セミナー　どれも充実していたと思います。
- ありがとうございました。又、来たいです
- 今後の展示も期待しております。
- 小路のガケ　見学したいです。

● 1月

- 2階の展示（顕微鏡）の内容が少し難しすぎでは？
- 「線の表現力」を見にきました。来てよかったです。須田氏の能のデッサン：観能しつつあれだけの線を的確にひけるのは、日々の鍛錬のたまものと感じました。画帳に見られるように中村貞夫「梅の木」3枚の迫力、魅力も印象的です。阪大の建物壁面にあれらを拡大したパネル？をつけるとどんなに景観が変わるだろうかと夢想しました　ワークショップでの作品もおもしろかったです。プロの線とのちがいがわかるとともに「実作？」された参加者も「線」について楽しみ、ふかく理解されたのではと思いました。
- まちかね山に、わにが、いきていたことがふしぎでした。
- 須田國太郎さんの、作品に、又、お逢いできて、感激しました。・次回以降の展覧会が、たのしみです！！
- 阪大の未来は？
- この土地にマチカネワニがいた事に古を感じ昔に思いをはせた。入口のマニマネワニのレプリカの展示はとても良いと思った
- 静かでゆっくり見れてよかったです　無料というのが恐縮してしまいます　500円位　維持費に　入園料をとってもいいのでは？ありがとうございました
- 3Dの地球とか火星がよかった←小さいのに太陽系･･･の山とか多い

● 2月

- 2階は、いきなり映像の音がながれ出すし、うす暗いし、奇みょうな音がしてるし･･で、とてもこわくて・・でもおもしろかったです！

● 3月

- しつれいなんですが、マチカネワニのモデルをうってみたらどうですか
- 楽しかった。
- がんばってください
- はく力があったのでおもしろかったです
- 前回何十年前。今回大変立派になっているのにびっくり
  学食で昼食、春休みだったのか学生さんが少なかった、でも阪大生はどこか違うのかと思ったがやはり皆んな居てもメールしている姿同じかナと思った。系譜にのっているような人がいるのかナ？

3.7 団体見学等一覧

No.	月　日	曜日	団　体　名	人数	説明教員等
1	平成 22 年 4 月 1 日	木	阪大九友会	18	横田
2	4 月 12 日	月	第 5 時限の授業（高杉先生）	105	橋爪・高橋・廣川
3	4 月 13 日	火	白井直美様、中嶋雅子様	2	江口
4	4 月 22 日	木	川西市古代学友の会	40	寺前 （埋蔵文化財調査室）
5	4 月 26 日	月	授業　地球科学 A	100	
6	4 月 27 日	火	池田功名誉教授同窓生ほか	10	江口
7	4 月 27 日	火	豊中市　人権文化部　人権企画課	2	江口
8	5 月 10 日	月	雲雀丘学園高等学校　55 期生	33	江口
9	5 月 11 日	火	大阪大学工学部応用化学科　昭和 35 年卒業　クラス会	30	江口
10	5 月 13 日	木	豊中市　人権文化部　人権企画課	3	江口
11	5 月 21 日	金	兵庫県川西市生涯学習短期大学平成 22 年卒業 「暮らしの化学・薬」有志 OB 会「舎密会」	15	高橋
12	5 月 22 日	土	石橋×阪大（石橋キャンパスプロジェクト）	18	
13	5 月 26 日	水	マスターズ旭三（老人クラブ）	16	宮久保
14	5 月 26 日	水	大阪大学本部事務機構及び医学部付属病院 新人事務職員	14	
15	5 月 29 日	土	植物探検隊	30	
16	6 月 2 日	水	授業「地球環境科学入門」（理学研究科　中嶋先生）	107	
17	6 月 5 日	土	理学研究科化学専攻 芝研究室・楠本研究室合同同窓会	36	豊田
18	6 月 5 日	土	植物探検隊	23	
19	6 月 16 日	水	理学研究科　土山　明教授　２限目授業	111	
20	6 月 16 日	水	大邱（デグ）科学高等学校	101	江口・松永・横田
21	6 月 23 日	水	芦屋川カレッヂ（AC）第２６期	12	
22	6 月 30 日	水	吹田第二婦人会	40	廣川
23	7 月 21 日	水	韓国ハイアン大学	4	豊田
24	7 月 28 日	水	ハルビン工業大学理学研究院院長　一行 （大阪大学情報科学研究科 －ハルビン工業大学理学院学術交流に基づく招聘）	5	宮久保
25	8 月 2 日	月	和歌山県立田辺高等学校	104	
26	8 月 3 日	火	星稜高等学校	35	
27	8 月 26 日	木	智弁学園高等学校	81	
28	8 月 27 日	金	智弁学園高等学校	110	
29	8 月 31 日	火	韓国市民団体の日本研修	35	江口
30	9 月 14 日	火	大阪薫英女学院高等学校　普通科　1 年	5	
31	9 月 15 日	水	（老人クラブ）ローズ会	28	廣川
32	9 月 18 日	土	京都府立桃山高等学校　歩こう会	18	高橋
33	9 月 22 日	水	大阪狭山市熟年いきいき事業実行委員会歴史文化部	15	松永
34	9 月 24 日	金	社団法人　近畿化学協会　ヘテロ原子部会	20	江口
35	10 月 6 日	水	平成 22 年度（第 2 回）大阪大学新人職員研修	77	

No.	月　日	曜日	団　体　名	人数	説明教員等
36	10 月 8 日	金	大阪府立天王寺高等学校　（法学部見学グループ）	35	
37	10 月 8 日	金	大阪府立住吉高等学校	116	
38	10 月 13 日	水	わだち会（阪大工学部昭 29 年卒）	18	
39	10 月 14 日	木	JICA 研修団（アフリカ諸国　政府関係技術者　建設関係） 受入先 : 社会基盤工学部門 教授　鎌田敏郎、特任助教　内田慎哉	14	江口
40	10 月 18 日	月	川西市生涯学習短期大学（レフネック）経済生活学科 OB 会	13	豊田
41	10 月 19 日	火	奈良県立平城高等学校 PTA	72	
42	10 月 20 日	水	工学部地球総合工学科 3 年生（応用地質学履修者）	30	
43	10 月 21 日	木	近畿大学附属新宮中学校	45	
44	10 月 22 日	金	奈良高校ＰＴＡ	90	
45	10 月 25 日	月	岡山県立岡山一宮高等学校	45	宮久保
46	10 月 25 日	月	大阪大学総務部人事課（担当係 : 人事課総務係）	20	廣川
47	10 月 25 日	月	六〇会（ぶれいかい） 昭和 35 年　阪大工学部機械工学科卒業生同窓会	33	豊田
48	10 月 26 日	火	近畿大学附属東広島高等学校	45	
49	10 月 27 日	水	不朽会	10	高橋
50	10 月 29 日	金	大阪府立春日丘高等学校	47	廣川
51	10 月 29 日	金	米子北斗高等学校	16	
52	11 月 2 日	火	初芝富田林中学校（3 年生）	146	
53	11 月 5 日	金	歴史考古の会（ASF 2）	21	
54	11 月 10 日	水	豊中市立小中学校教育研究会　「豊中の歴史」	11	
55	11 月 12 日	金	七国立大学財務関係実務担当者	11	
56	11 月 16 日	火	和歌山県立古佐田丘中学校	83	
57	11 月 16 日	火	私立報徳学園高等学校	88	松永・高橋
58	11 月 18 日	木	大阪府高齢者大学　同窓会豊中	53	橋爪
59	11 月 24 日	水	大阪大学理学部新制化学科 4 回生 （昭和 31 年 3 月卒業）ミニクラス会	8	宮久保
60	11 月 26 日	金	兵庫県立宝塚北高等学校	42	豊田
61	12 月 4 日	土	広報とよなか	10	
62	12 月 13 日	月	私立開星高等学校	12	高橋
63	平成 23 年 1 月 7 日	金	豊中市教育委員会　豊中市教育センター サイエンス・ツアー	40	江口
64	3 月 8 日	火	パークシルバー会	18	
65	3 月 9 日	水	大阪青凌中学高等学校	46	
66	3 月 22 日	火	箕面市退職教務員の会ハイキングクラブ	18	松永

計　2659 人

3.8 待兼山修学館 3 階セミナー室使用状況一覧

No.	月　日	曜日	行　事　又　は　集　会　名	人　数
1	平成 22 年 4 月 15 日	木	生命理学基礎演習 1	30
2	5 月 7 日	金	平成 22 年度「博物館体験コース」授業	
3	5 月 8 日	土	大阪大学文学部・文学研究科同窓会講座	35
4	5 月 10 日	月	雲雀丘学園高等学校　55 期生見学説明	33
5	5 月 14 日	金	平成 22 年「博物館体験コース」授業	
6	5 月 15 日	土	第 11 回企画展　第 24 回ミュージアム・レクチャー 「『陽だまりの樹』と蘭方医手塚良仙」	40
7	5 月 29 日	土	第 11 回企画展　第 25 回ミュージアム・レクチャー 「近世大坂の学問と適塾」	30
8	6 月 19 日	土	第 11 回企画展　第 26 回ミュージアム・レクチャー 「適塾と都市大坂の医療環境」	65
9	7 月 2 日	金	平成 22 年「博物館体験コース」授業	16
10	7 月 7 日	水	世界天文年　全国同時七夕講演会　大阪大学講演	40
11	7 月 9 日	金	平成 22 年「博物館体験コース」授業	16
12	7 月 16 日	金	平成 22 年「博物館体験コース」授業	16
13	7 月 17 日	土	サイエンスカフェ No.47 「スケジューリング理論事始め －どの宿題から始めたら良いの？－」	15
14	7 月 24 日	土	サイエンスカフェ No.48 「マチカネワニを探求すると？」	30
15	7 月 29 日	木	Handai-Asahi 中之島塾（小倉明彦先生の講座）	25
16	7 月 30 日	金	外部評価委員会	20
17	8 月 4 日	水	サイエンスカフェ No.49 「塗り替えられる歴史像 - 室町幕府の場合 -」	13
18	8 月 7 日	土	サイエンスカフェ No.50 「母乳育児とセルフメディケーション －タンポポコーヒーの活用－」	7
19	8 月 17 日	火	夏の小学生科学体験教室「水の硬さって、なに？」	23
20	8 月 18 日	水	夏の小学生科学体験教室「戦国大名を系図からみてみよう」	20
21	8 月 19 日	木	夏の小学生科学体験教室「冷やせ！－ 195℃の不思議な世界」	26
22	8 月 20 日	金	夏の小学生科学体験教室「花粉管を伸ばしてみよう」	16
23	8 月 21 日	土	サイエンスカフェ No.51 「折畳みの科学 －折畳める円筒、折畳めない円筒－」	26
24	8 月 24 日	火	大阪大学技術職員研修（第 27 回）	27
25	8 月 28 日	土	サイエンスカフェ No.52 「西洋の歴史とキリスト教」	23
26	8 月 31 日	火	博物館団体（韓国市民団体の日本研修）見学説明	35
27	9 月 4 日	土	サイエンスカフェ No.53 「相対性理論の世界」	23
28	9 月 7 日	火	大阪歴史科学協議会編集委員会 （大阪歴史学会の機関誌『歴史科学』202 号編集作業のため）	5
29	9 月 8 日	水	資産決算課　打合せ	10
30	9 月 10 日	金	科学研究費補助金（基盤研究（A）） 「 近現代の日本における医療の構造変化と歴史の重層 」 （代表者 : 鈴木晃仁）による研究会・会議	20
31	9 月 11 日	土	サイエンスカフェ No.54 「固体表面の化学」	24
32	9 月 14 日～ 24 日	火～金	博物館実習	130
33	9 月 24 日	金	社団法人　近畿化学協会　ヘテロ原子部会 幹事会およびセミナー	20
34	9 月 25 日	土	サイエンスカフェ No.55 「幕末大坂の浮世絵「浪花百景」 －なにがえがかれているか、みんなで探ろう－」	25
35	9 月 29 日	水	博物館実習	36

No.	月　日	曜日	行　事　又　は　集　会　名	人　数
36	9 月 30 日	木	博物館実習	16
37	10 月 9 日	土	第 4 回植物探検隊＠秋の待兼山を訪ねて	
38	10 月 12 日～ 16 日	火～土	特別展示 抵抗を縫う・・・チリのキルトにおける触覚の物語 GCOE（映画上映及びワークショップ）	456
39	10 月 20 日	水	応用地質学	30
40	10 月 23 日	土	第 4 回植物探検隊＠秋の待兼山を訪ねて	
41	11 月 6 日	土	第 12 回企画展　ワークショップ 「描線を楽しもう －1 本の線で描く－」	43
42	11 月 7 日	日	第 12 回企画展　第 27 回ミュージアム・レクチャー 「線描の軌跡」	55
43	11 月 13 日	土	放送大学面接授業	38
44	11 月 15 日	月	橋爪教授授業	93
45	11 月 20 日	土	放送大学面接授業	38
46	11 月 26 日	金	感謝状贈呈式（井上文顕氏）	10
47	11 月 27 日	土	第 12 回企画展　第 28 回ミュージアム・レクチャー 「愚直な音楽 －ジョンケージによる図形楽譜の試み－」	28
48	11 月 29 日	月	打合せ（手塚プロダクション）	
49	12 月 4 日	土	第 12 回企画展　第 29 回・第 30 回ミュージアム・レクチャー 「能と絵の出会い －須田国太郎　能・狂言デッサン再考－」 「（能）と父・須田国太郎」	70
50	12 月 11 日	土	第 12 回企画展　第 31 回ミュージアム・レクチャー 「行為の痕跡：1950 年代（具体）作品の線」	23
51	12 月 21 日	火	講義（日本美術史）	20
52	12 月 22 日	水	消費生活セミナー in　阪大	50
53	平成 23 年 1 月 7 日	金	豊中市教育委員会　豊中市教育センター　サイエンス・ツアー	40
54	1 月 8 日	土	サイエンスカフェ　No.56 「分子の動きを追いかける」	32
55	1 月 15 日	土	サイエンスカフェ　No.57 「放射線とのつきあいかた －その効用とリスク－」	20
56	1 月 22 日	土	サイエンスカフェ　No.58 「構想道路の渋滞は何故起こる －渋滞発生の物理－」	19
57	1 月 24 日	月	自然総研セミナー「マチカネワニものがたり」	50
58	1 月 29 日	土	サイエンスカフェ　No.59 「「地域」って何だろう ?」	8
59	2 月 5 日	土	サイエンスカフェ　No.60 「ギターはいつ「カラフル」になったか」	12
60	2 月 12 日	土	サイエンスカフェ　No.61 「漢方ってなあに －漢方・入門の入門－」	20
61	2 月 19 日	土	第 15 回サステイナブルテクノロジー研究会	30
62	2 月 26 日	土	サイエンスカフェ　No.62 「ホタルの光のひみつ」	33
63	3 月 2 日	水	大阪府高等学校理化教育研究会 阪大豊中キャンパス 見学会	45
64	3 月 12 日	土	サイエンスカフェ　No.63 「花びらの枚数の決まり方を考えよう」	35
65	3 月 15 日	火	第 13 回企画展展示内容についての打ち合わせ	5
66	3 月 18 日	金	薬学研究科　伝統医薬解析学分野セミナー	10
67	3 月 19 日	土	サイエンスカフェ　No.64 「映画と演劇の歴史」	11
68	3 月 26 日	土	サイエンスカフェ　No.65 「里山の植物文化」	22

計　2282 人

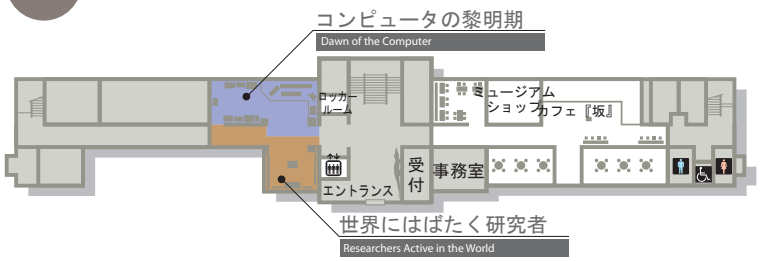
4. 館内配置図

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内

1F



コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

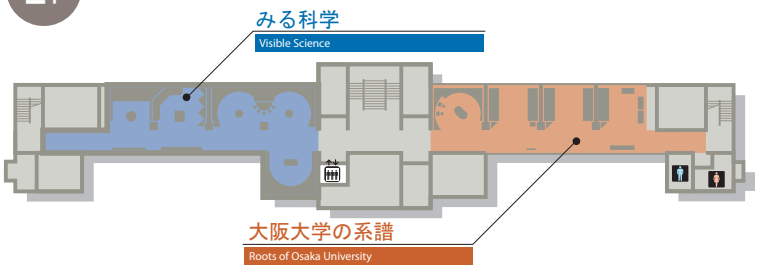
阪大では、第二次世界大戦後まもなく真空管式コンピュータの研究と試作を始めました。その当時誕生したばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を担った研究者たちを紹介しています。

世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わりのある様々な研究者を紹介しています。

ミュージアムカフェ「坂」 Museum Cafe「SAKA」

2F



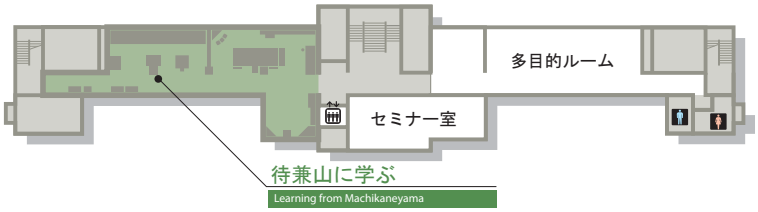
みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高圧電子顕微鏡のしくみや、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかにするＸ線構造解析などの技術と、それらを利用した研究の一端を紹介しています。

大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大坂市民の学問からの流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を紹介しています。

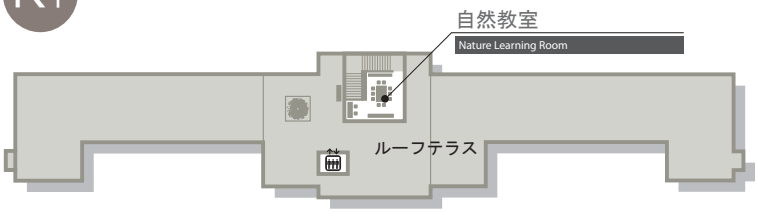
3F



待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息する生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明する研究を紹介しています。

RF



自然教室＆ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいです。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパスに咲く花」を検索することができます。また、ルーフテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じることができます。

Museum of Osaka University

5. 寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書　名
1	池田市立歴史民俗資料館	古墳時代の猪名川流域 －猪名川流域に投影された畿内政権の動静－
2	和泉市久保惣記念美術館	特別展　数の美術　数えて楽しむ東アジアの美術
3	岩手県立博物館	いわての漆～縄文から現代まで　岩手に伝わる漆の文化～
4	大阪城天守閣	瓦版にみる　幕末大阪の事件史・災害史
5	大阪城天守閣	秀吉への挑戦
6	大阪歴史博物館	特別展　昭和のおもちゃとマンガの世界
7	大阪歴史博物館	特別展　新淀川 100 年　水都大阪と淀川
8	大阪歴史博物館	なにわの考古学 30 年の奇跡－足下に眠る歴史－
9	香川県立ミュージアム	高松松平博物図譜　衆芳画譜　花卉　第四
10	香川県立ミュージアム	高松松平博物図譜　衆芳画譜　花果　第五
11	九州国立博物館	馬　アジアをかけた二千年
12	九州国立博物館	ゴッホ展　没後 120 年　Van　Gogh
13	九州国立博物館	誕生！中国文明
14	九州国立博物館	東風西声　九州国立博物館　紀要　第 5 号　2009
15	九州国立博物館	白磁を飾る青　朝鮮時代の青花
16	九州国立博物館	パリに咲いた古伊万里の華 　日本磁器ヨーロッパ輸出 350 周年記念
17	九州国立博物館	湖の国の名宝展　最澄がつないだ近江と太宰府
18	九州国立博物館	名品でたどる　室町から桃山の茶　茶の湯を楽しむ 3
19	九州国立博物館	邪馬台国　九州と近畿
20	京都市立芸術大学芸術学研究室	京都市立芸術大学創立 130 周年記念展 京都日本画の誕生－巨匠たちの挑戦
21	京都府丹後郷土資料館	大丹波展－豪族たちの栄華－
22	神戸大学大学院人文学研究科 海港都市研究センター	海港都市研究　第 6 号
23	国立大学法人三重大学	「博物館・大学・県民がつくる学びの輪」記録集
24	国立民族学博物館	彫刻家エル・アナツイのアフリカ
25	国立民族学博物館	特別展「ウメサオ　タダオ展」
26	サントリー美術館	合同研究紀要　二〇〇九
27	総合研究大学院大学	教育研究プロジェクト特別講義第 22 号 与謝野晶子の源氏物語翻訳と自筆原稿
28	武田科学振興財団	杏雨 13 号
29	たばこと塩の博物館	研究紀要第 9 号　開館 30 周年記念論集
30	帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館蔵品図版目録　考古 I
31	東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.9 2009
32	道修町資料保存会	道修町文書近世編第一巻
33	名古屋市博物館	研究紀要　第 34 巻
34	新潟大学旭町学術資料展示館	佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて
35	西宮市立郷土資料館	西宮の山岳信仰
36	根津美術館	旧竹田宮家所蔵品受贈記念　ひなかざり
37	根津美術館	村上コレクション受贈記念　中国の古鏡
38	福井県立恐竜博物館	アジア恐竜時代の幕開け－巨大恐竜の進化
39	佛教大学宗教文化ミュージアム	資料集『法然院忍澂上人と大蔵対校録』
40	佛教大学宗教文化ミュージアム	展観図録『日本仏教と高麗版大蔵経－忍澂上人を中心として－
41	佛教大学宗教文化ミュージアム	レジュメ集『日本仏教と高麗版大蔵経』
42	北海道大学水産学部海洋生物学講座 (魚類体系学領域)	ペルー海域の深海魚類図鑑
43	北海道大学総合博物館	豊平川と私たち－その生いたちと自然－
44	北海道大学総合博物館	わが街の文化遺産　札幌軟石－支笏火山の恵み－
45	松代文化施設等管理事務所	こども松代みて歩き
46	松代文化施設等管理事務所	松代新御殿（真田邸）
47	南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要　第 29 号
48	和歌山市立博物館	紀州徳川家のお姫さま
49	和歌山市立博物館	和歌山市史研究第 39 号

編集後記

通算９冊目の『大阪大学総合学術博物館年報 2010』をお届け致します。二つの企画展を重点的にとりあげていますが、通常の活動報告の中にも、博物館の活動として特筆したいことがあります。

一つは、巻頭でも取り上げられている短期間の展覧会です。学内のグローバル COE 研究拠点主催の展示会に場所を提供するという形でしたが、博物館活用の新たな取り組みになりました。

もう一つは文学部講義「博物館学（学内実習）」です。これは大学博物館の本来の機能として重要で、松永助教がスタッフとして加わってスタートを切ることが出来ました。企画展以外のこれらの活動も、博物館の着実な進歩を裏付けるものではないかと思います。

実は 2010 年度は活動報告には出てこないことでも慌ただしい一年でした。教員の主要な居室と事務室・資料室などを設けていた共通教育本館（イ号館）が改修されて、「大阪大学会館」として、2011 年３月末に生まれ変わりました。改修の前後に、博物館教職員と多くの収蔵資料があわせて二度の引越しをすることになりました。新しい大阪大学会館は、豊中キャンパスの顔ともいえる建物で、その中でまとまったスペースに実習室を取ることができるなど、博物館も新しい環境になりました。機会があれば、お立ち寄りいただければ幸いに存じます。

（文責　宮久保　圭祐）

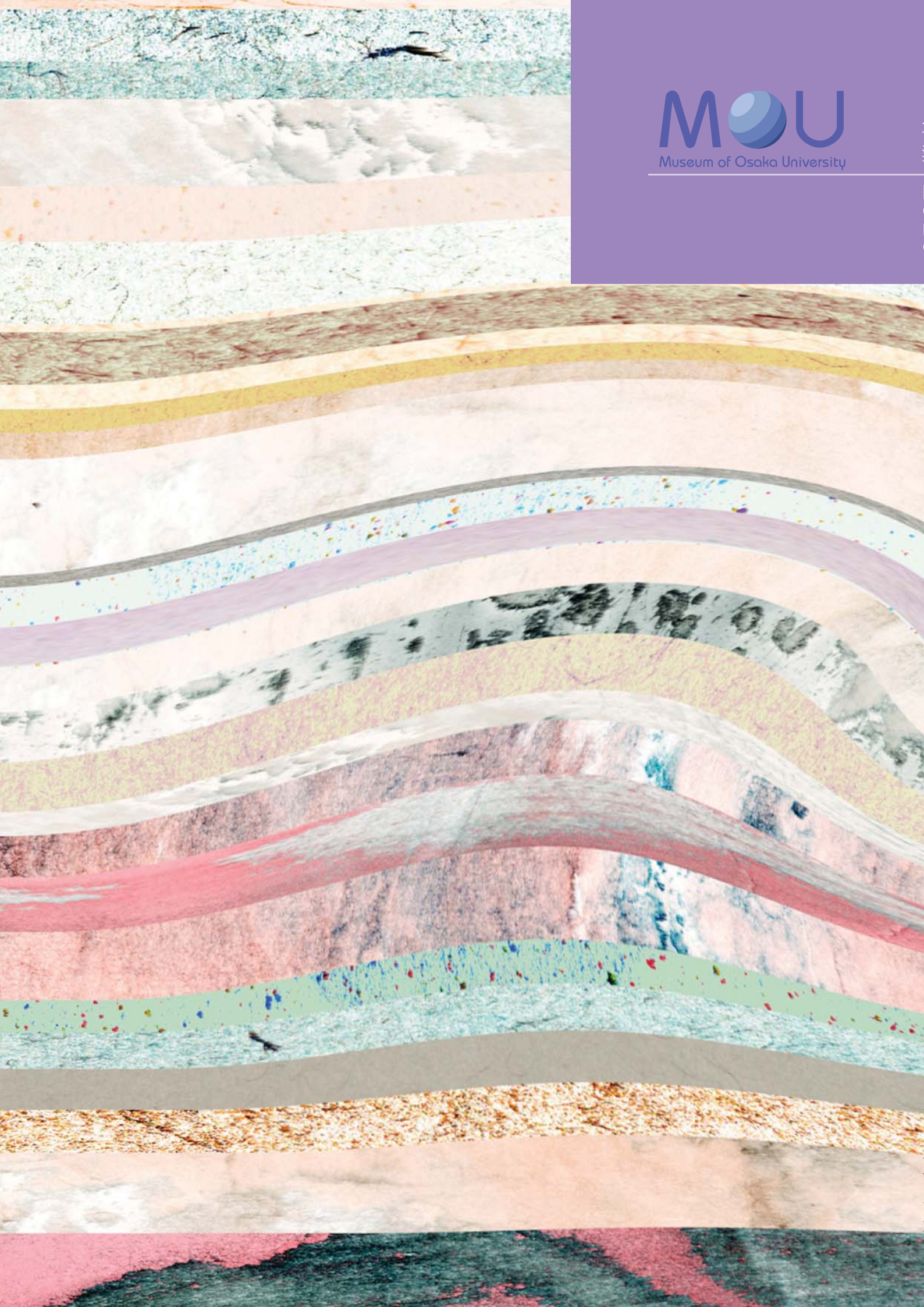
大阪大学総合学術博物館
年報　2010

2011 年 8 月発行

編集・発行　大阪大学総合学術博物館
〒 560-0043　豊中市待兼山町 1 － 13

印　　刷　株式会社　セイエイ印刷
〒 536-0016　大阪市城東区蒲生 2 － 10 － 33

表紙デザイン　辻村紀子（アトリエツジムラ）



MOU

Museum of Osaka University